

# 木材需給動向について (北海道地区)

---

令和 7 年 1 月

林野庁

# 目次

## 1 価格の動向

### (1) 原木価格（原木市場・共販所）

#### ア スギ（全国）

#### イ スギその他（北海道地区）

### (2) 製品価格

## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

### (1) 製材（全国・北海道地区）

### (2) 合板（全国）

### (3) チップ（全国）

## 3 住宅着工戸数の動向

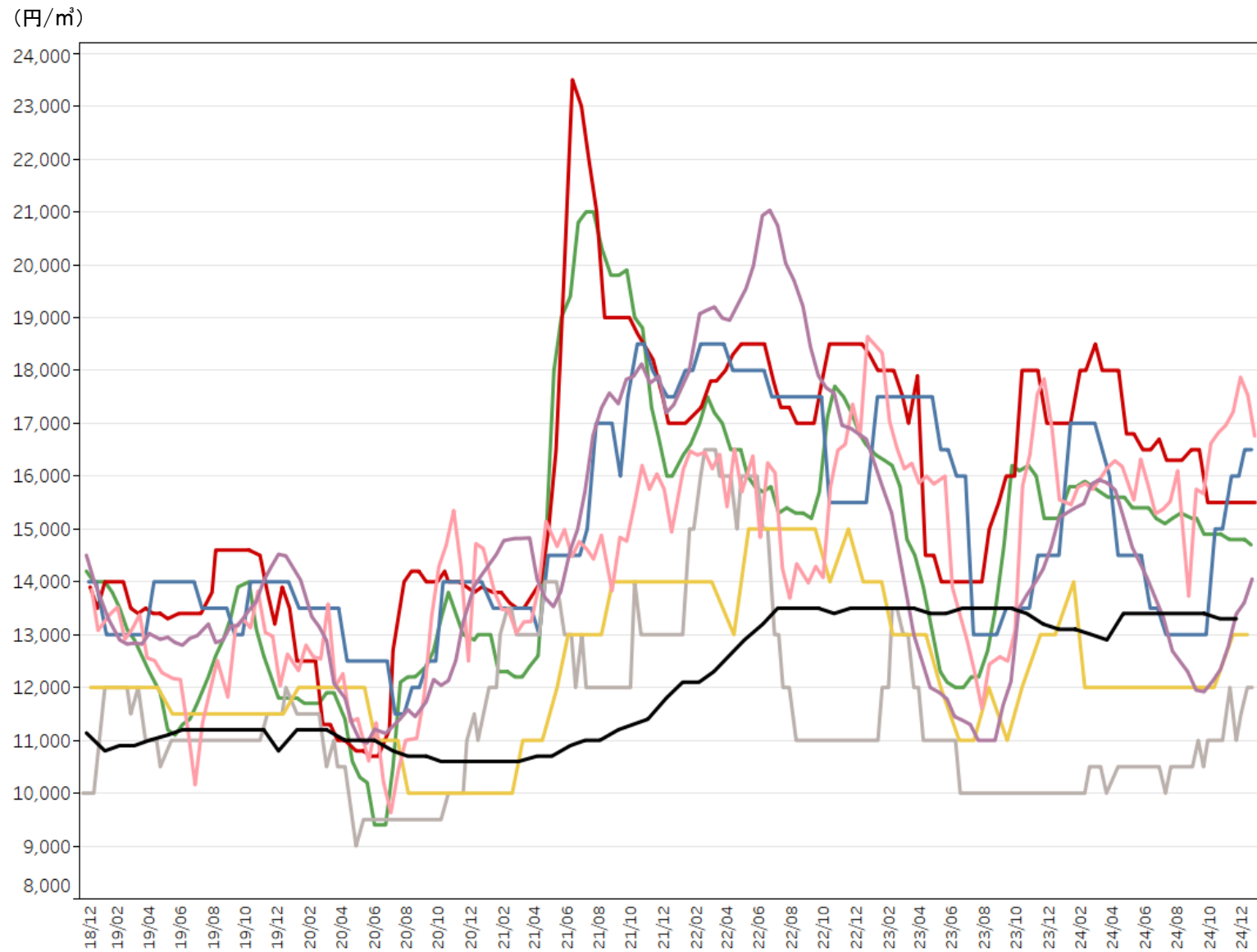
### (1) 全国の住宅着工戸数

### (2) 北海道地区の住宅着工戸数

## 4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)  
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~16,760円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

| 都道府県 | 2024年直近※ | 前年同期   | 前年同期比 |
|------|----------|--------|-------|
| 北海道  | 13,300   | 13,200 | 101%  |
| 秋田県  | 14,050   | 15,210 | 92%   |
| 栃木県  | 16,760   | 15,550 | 108%  |
| 長野県  | 13,000   | 13,000 | 100%  |
| 岡山県  | 12,000   | 10,000 | 120%  |
| 高知県  | 16,500   | 14,500 | 114%  |
| 熊本県  | 15,500   | 17,000 | 91%   |
| 宮崎県  | 14,700   | 15,200 | 97%   |

※北海道については11月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については12月の値を使用。

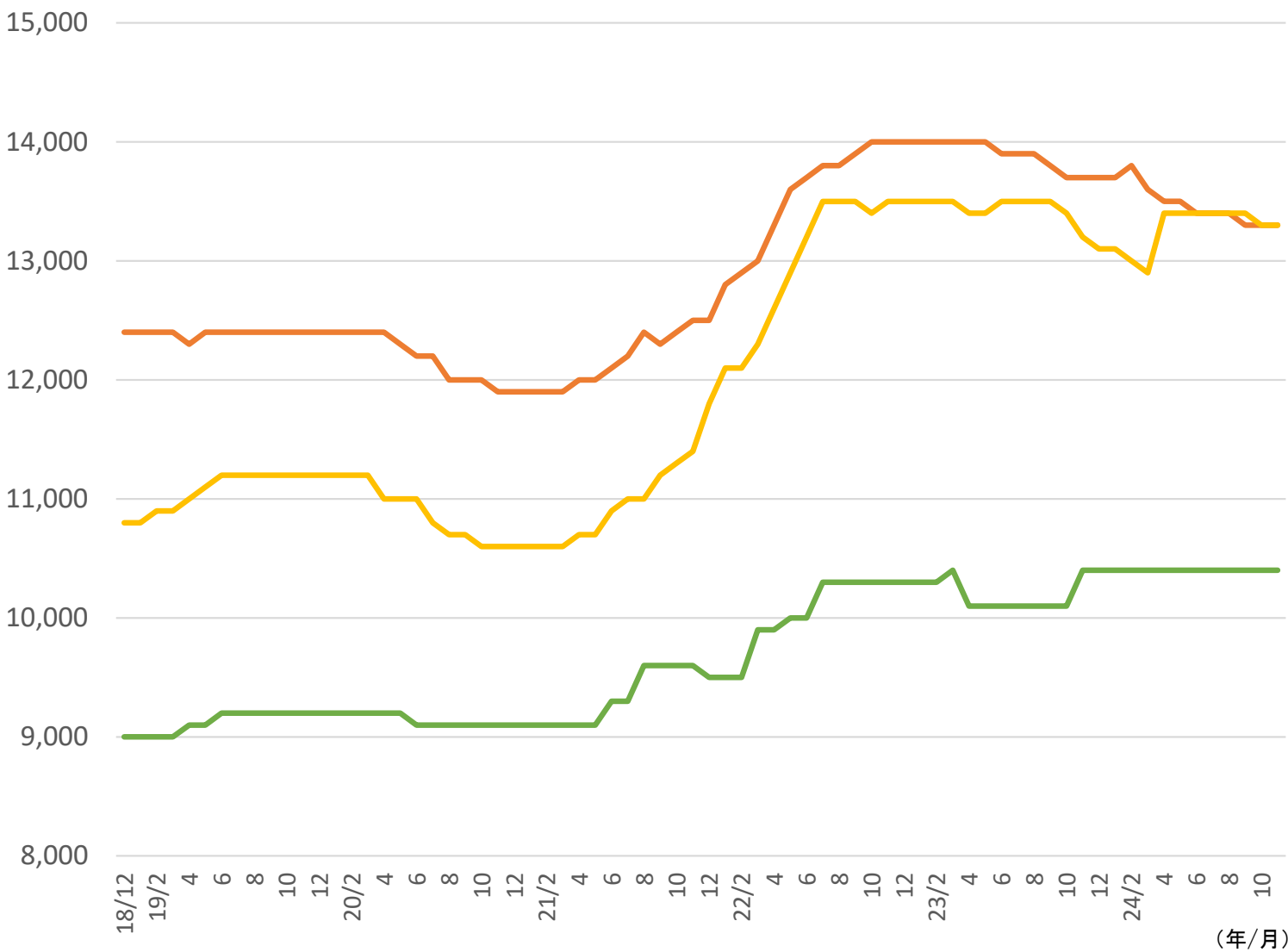
注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。  
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ スギその他（北海道地区） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- トドマツ、カラマツ、スギについて、2020年以降のコロナ禍による原木価格下落から回復し、その後も価格が上昇。現在も高い水準で推移。

原木市場・共販所における木材価格の推移



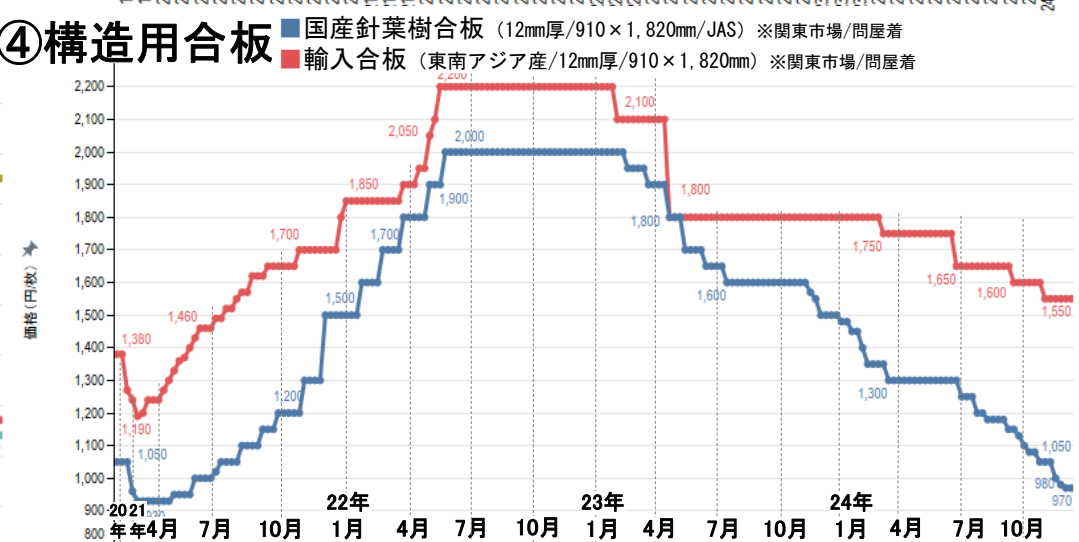
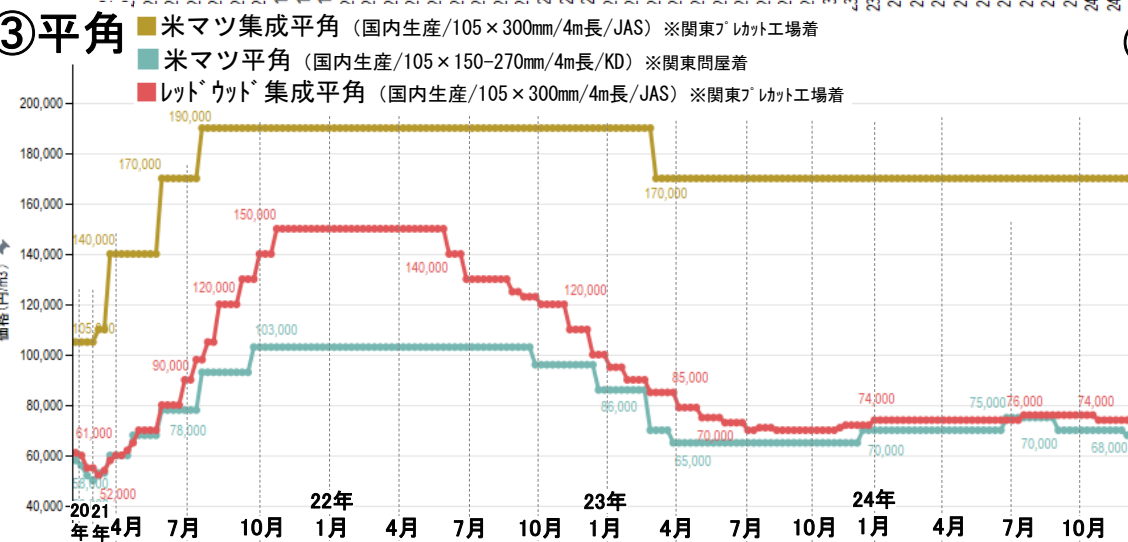
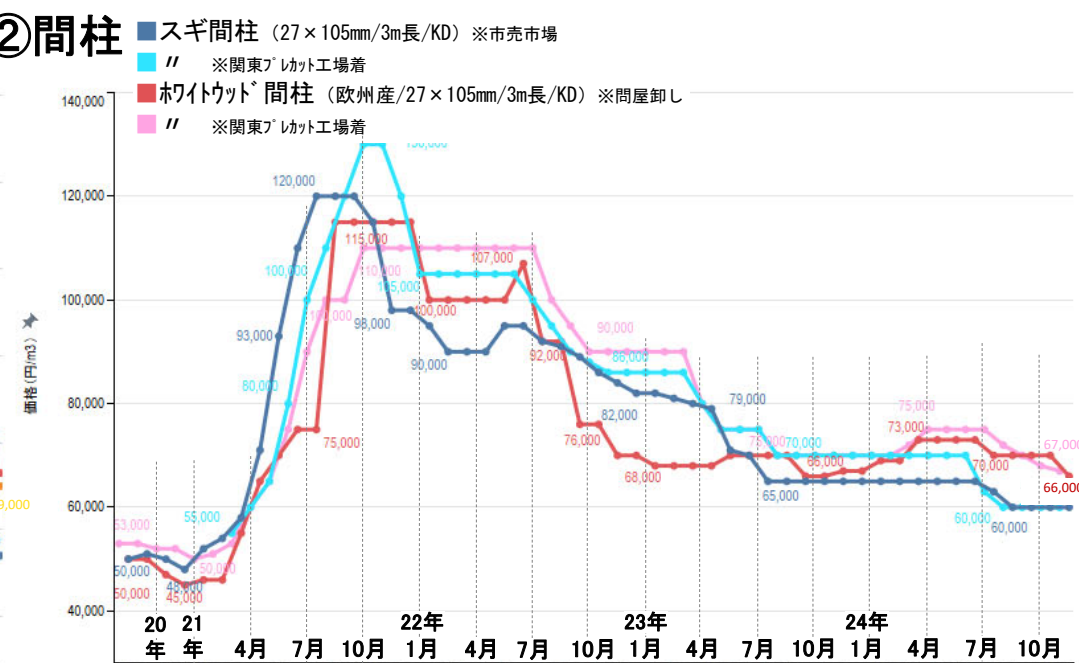
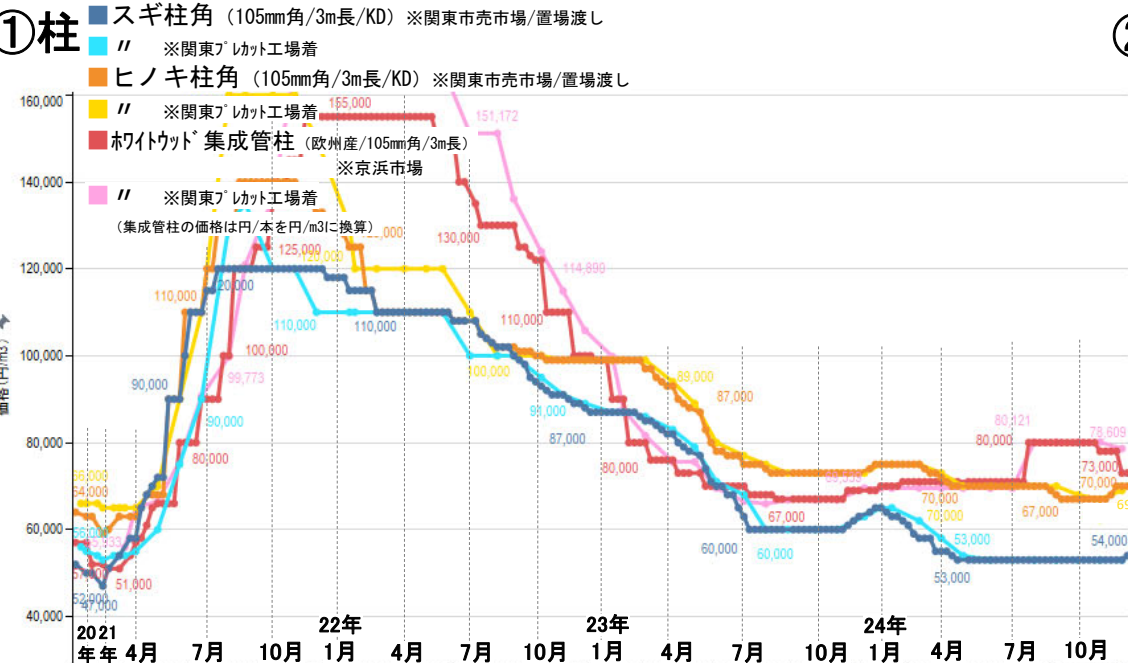
- トドマツ 長 3.65m 径 24~28cm 品等 込 (人工林材)
- カラマツ 長 3.65m 径 20~28cm 品等 込
- スギ 長 3.65m 径 24~28cm 品等 込

(単位：円/㎡)

| 樹種   | 2024年11月 | 前年同期   | 前年同期比 |
|------|----------|--------|-------|
| トドマツ | 13,300   | 13,700 | 97%   |
| カラマツ | 13,300   | 13,200 | 101%  |
| スギ   | 10,400   | 10,400 | 100%  |

## (2) 製品価格

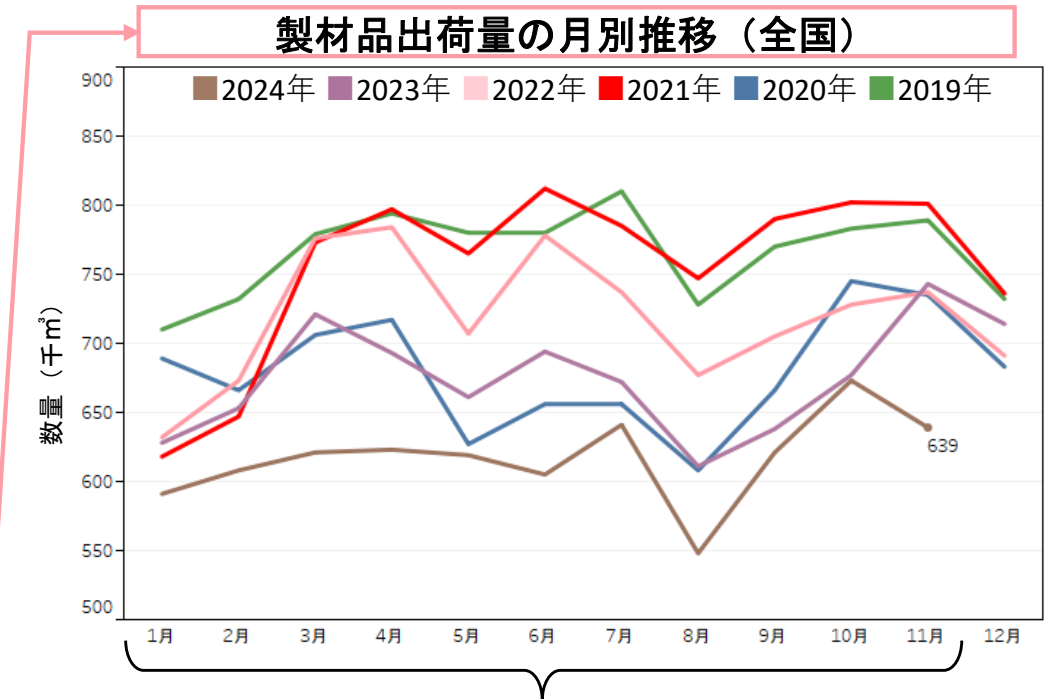
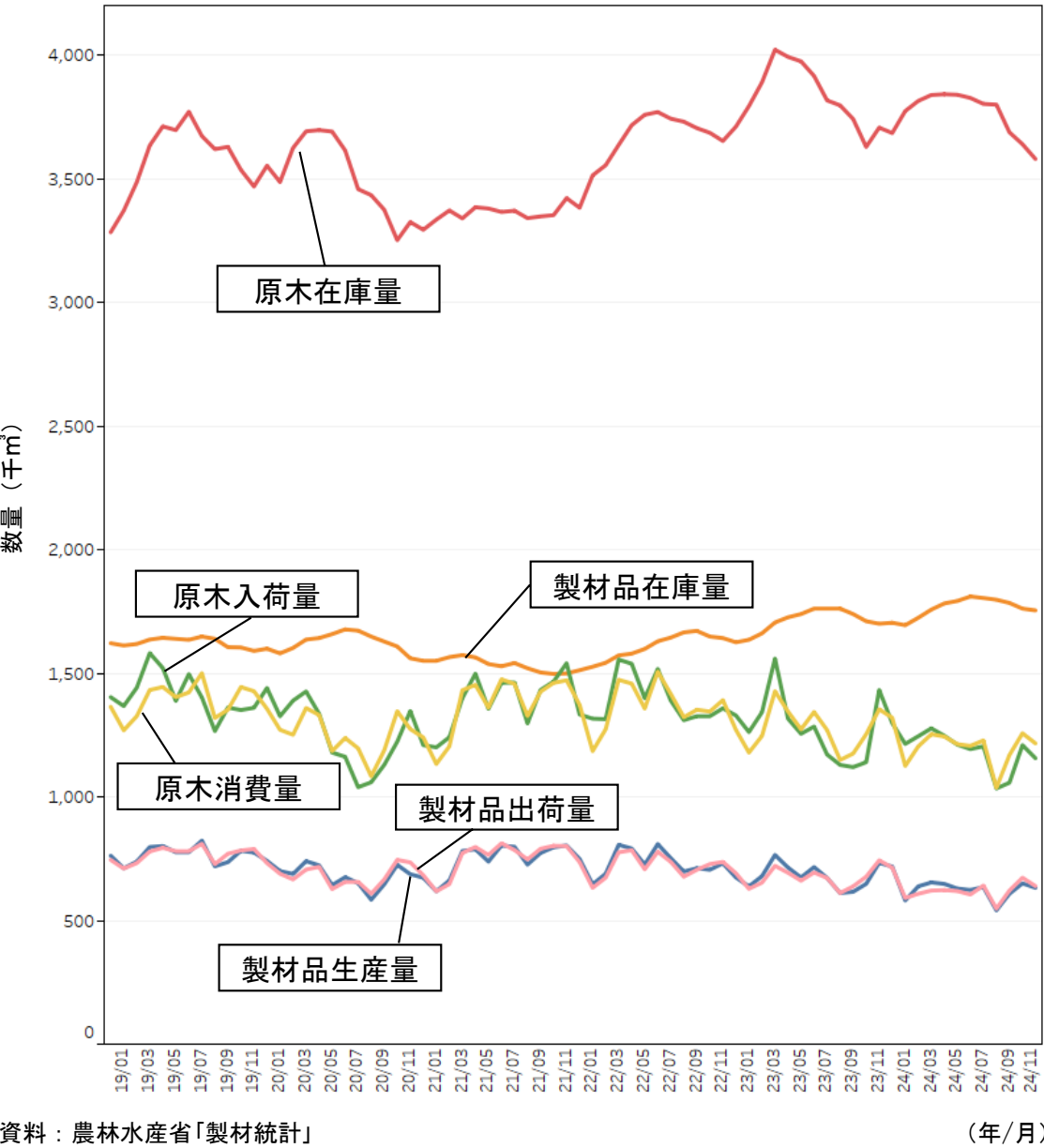
- 令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。  
令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、令和5年夏頃より概ね横ばいで推移。  
構造用合板の価格は、令和5(2023)年以降、下落傾向。国産材の柱の価格は、令和6(2024)年に入ってから下落後に横ばいで推移。



## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

### (1) 製材 (全国)

- 2024年 1～11月の原木の入荷量は13,047千m<sup>3</sup> (2019年比84%)。
- 同様に製材品の出荷量は6,789千m<sup>3</sup> (2019年比80%)。

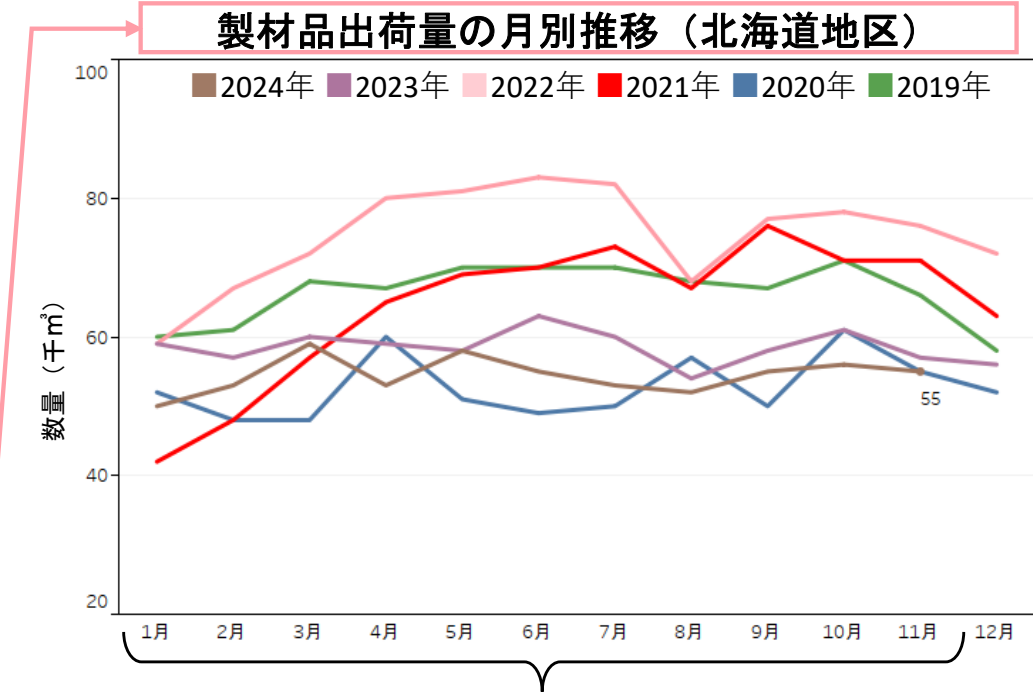
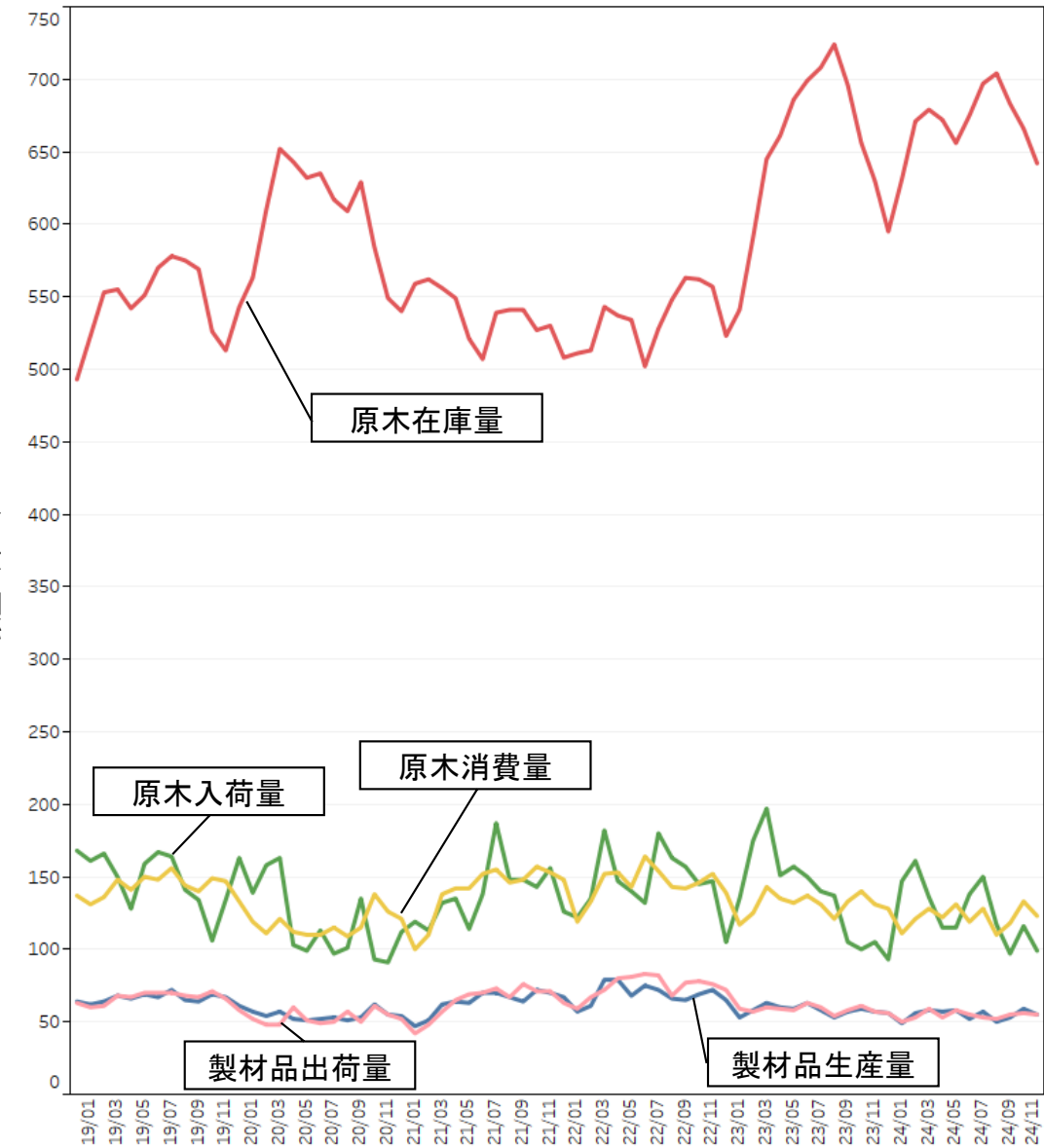


|                    | 2019年  | 2020年  | 2021年  | 2022年  | 2023年  | 2024年  |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1～11月原木入荷量合計(千m3)  | 15,534 | 13,615 | 15,352 | 15,348 | 14,010 | 13,047 |
| 2019年との比較※         | —      | 88%    | 99%    | 99%    | 90%    | 84%    |
| 1～11月製材品出荷量合計(千m3) | 8,455  | 7,471  | 8,337  | 7,934  | 7,391  | 6,789  |
| 2019年との比較※         | —      | 88%    | 99%    | 94%    | 87%    | 80%    |

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

# (1) 製材（北海道地区）

- 2024年 1～11月の原木の入荷量は1,391千m<sup>3</sup>（2019年比86%）。
- 同様に製材品の出荷量は599千m<sup>3</sup>（2019年比81%）。



|                    | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1～11月原木入荷量合計(千m3)  | 1,610 | 1,292 | 1,533 | 1,650 | 1,552 | 1,391 |
| 2019年との比較※         | —     | 80%   | 95%   | 102%  | 96%   | 86%   |
| 1～11月製材品出荷量合計(千m3) | 738   | 581   | 709   | 823   | 646   | 599   |
| 2019年との比較※         | —     | 79%   | 96%   | 112%  | 88%   | 81%   |

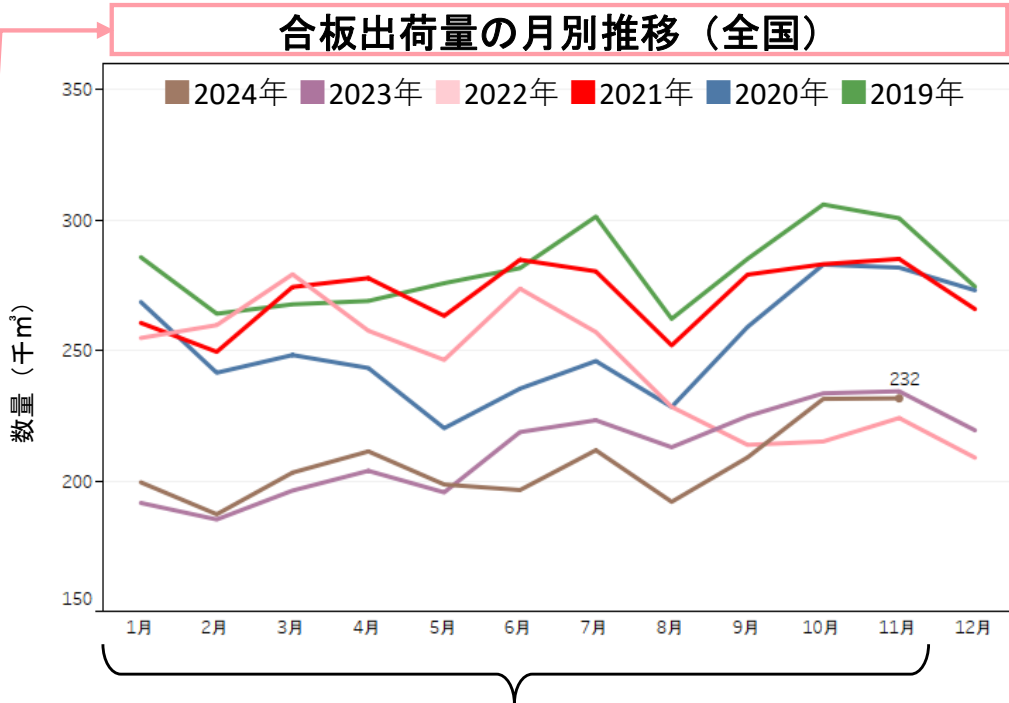
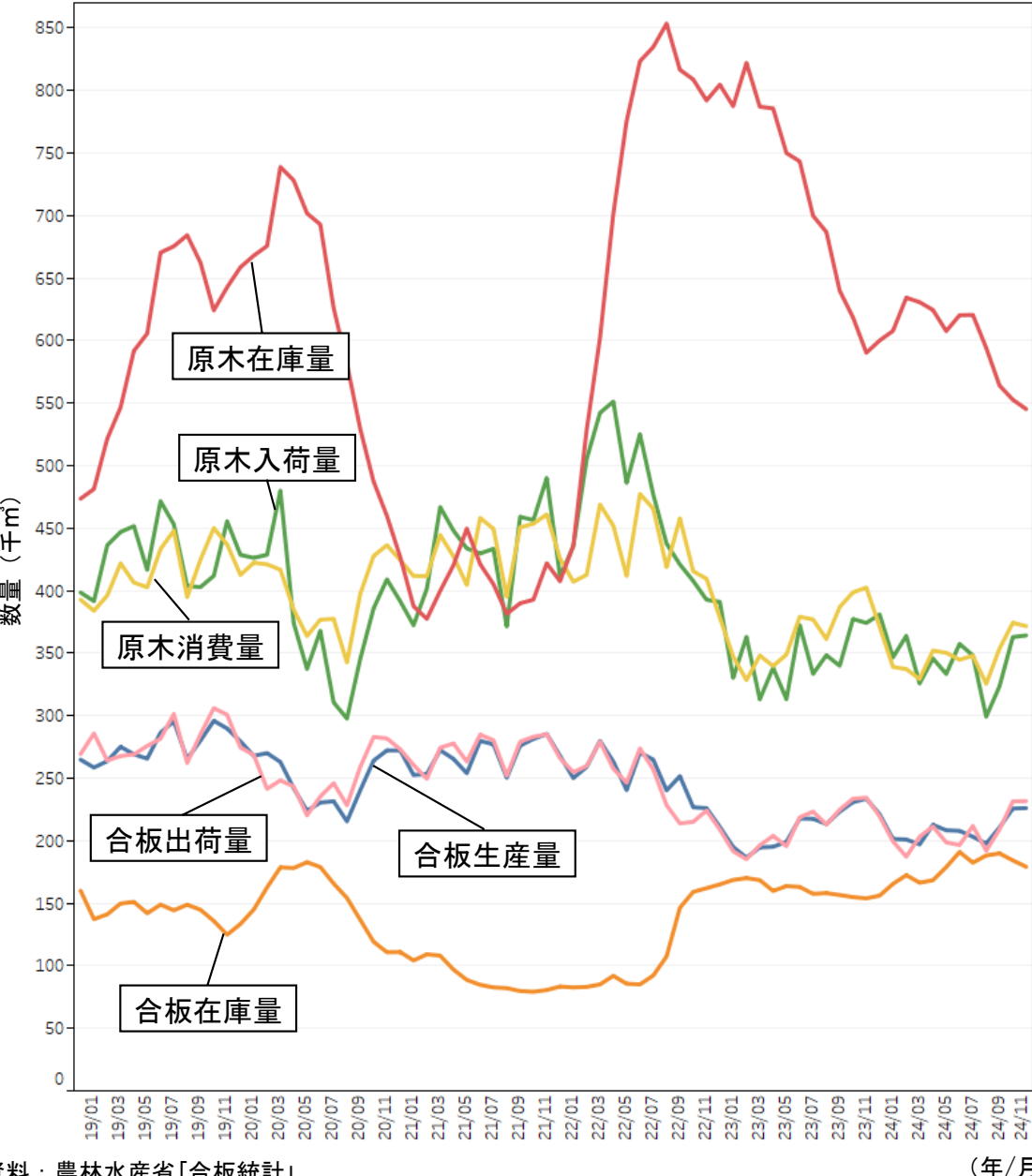
※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「製材統計」  
注）製材品在庫量については統計資料精査中

(年/月)

(2) 合板（全国）

- 2024年 1～11月の原木の入荷量は3,770千m<sup>3</sup>（2019年比80%）。
- 同様に合板の出荷量は2,272千m<sup>3</sup>（2019年比73%）。

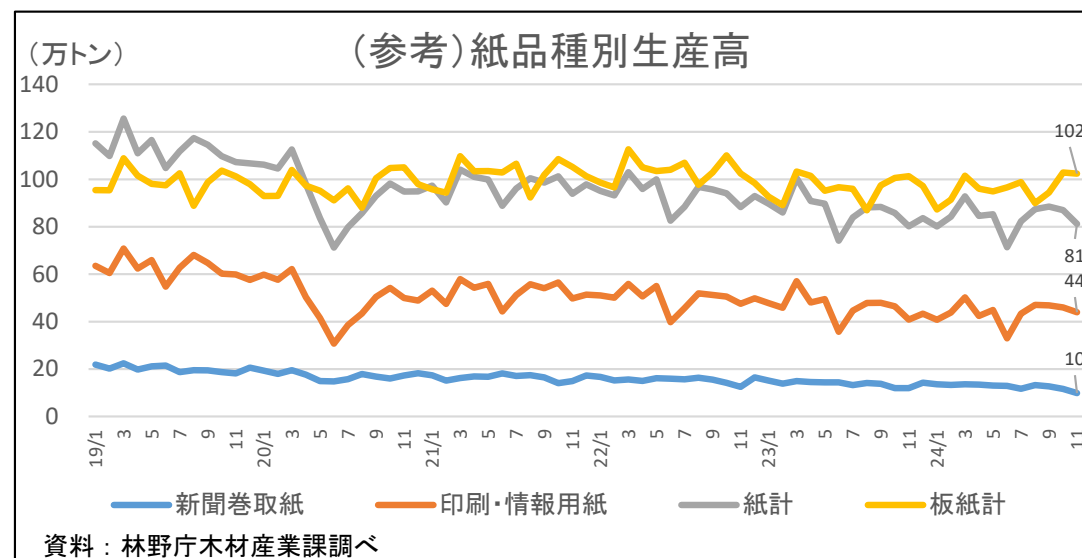
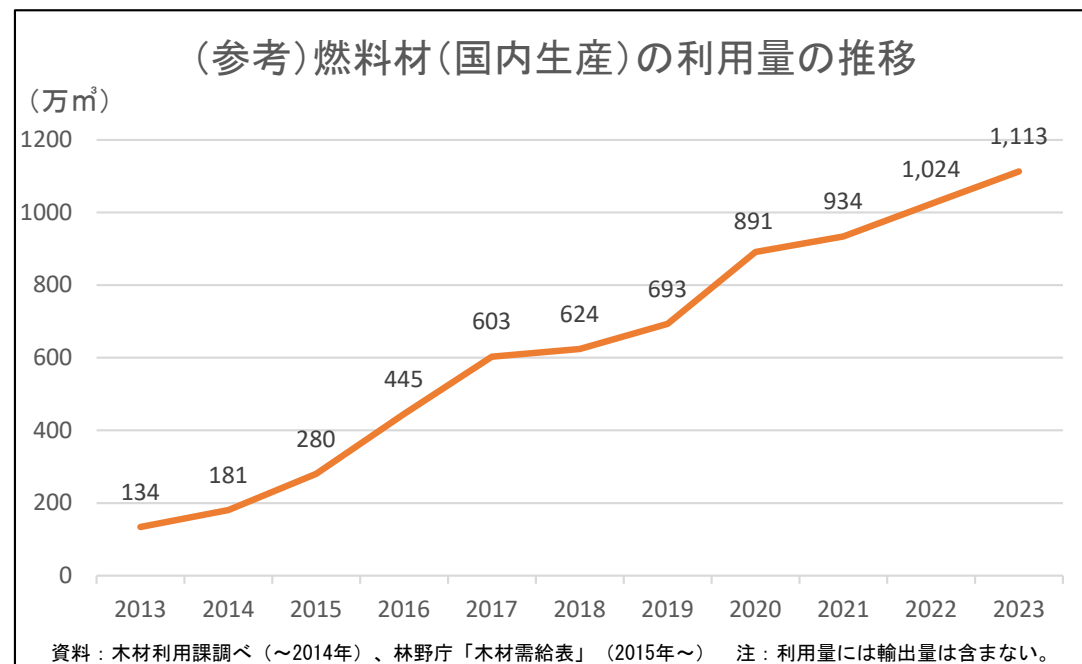
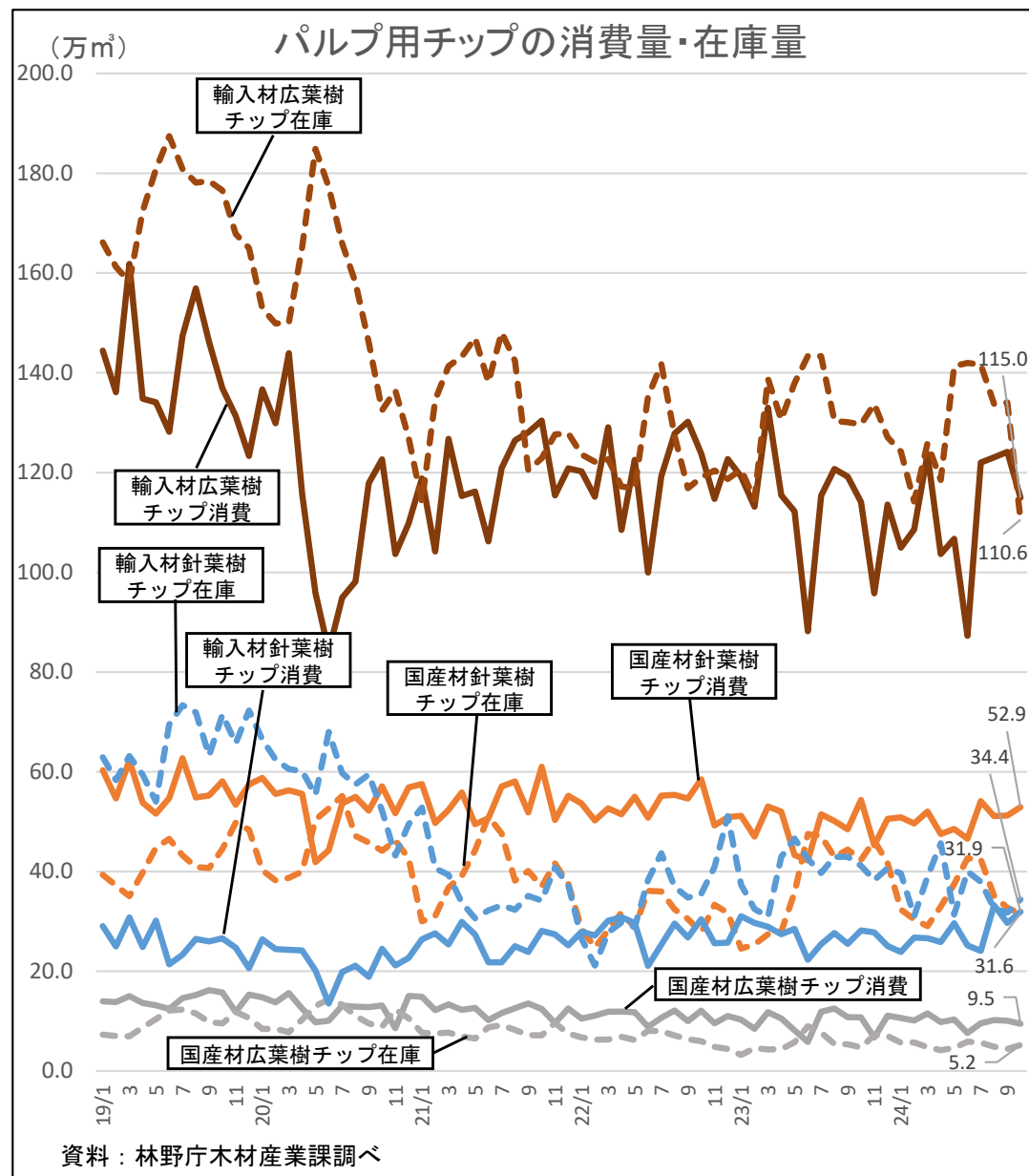


|                    | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1～11月原木入荷量合計(千m3)  | 4,741 | 4,162 | 4,762 | 5,181 | 3,803 | 3,770 |
| 2019年との比較※         | —     | 88%   | 100%  | 109%  | 80%   | 80%   |
| 1～11月製材品出荷量合計(千m3) | 3,099 | 2,755 | 2,990 | 2,710 | 2,320 | 2,272 |
| 2019年との比較※         | —     | 89%   | 96%   | 87%   | 75%   | 73%   |

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

### (3) チップ（全国）

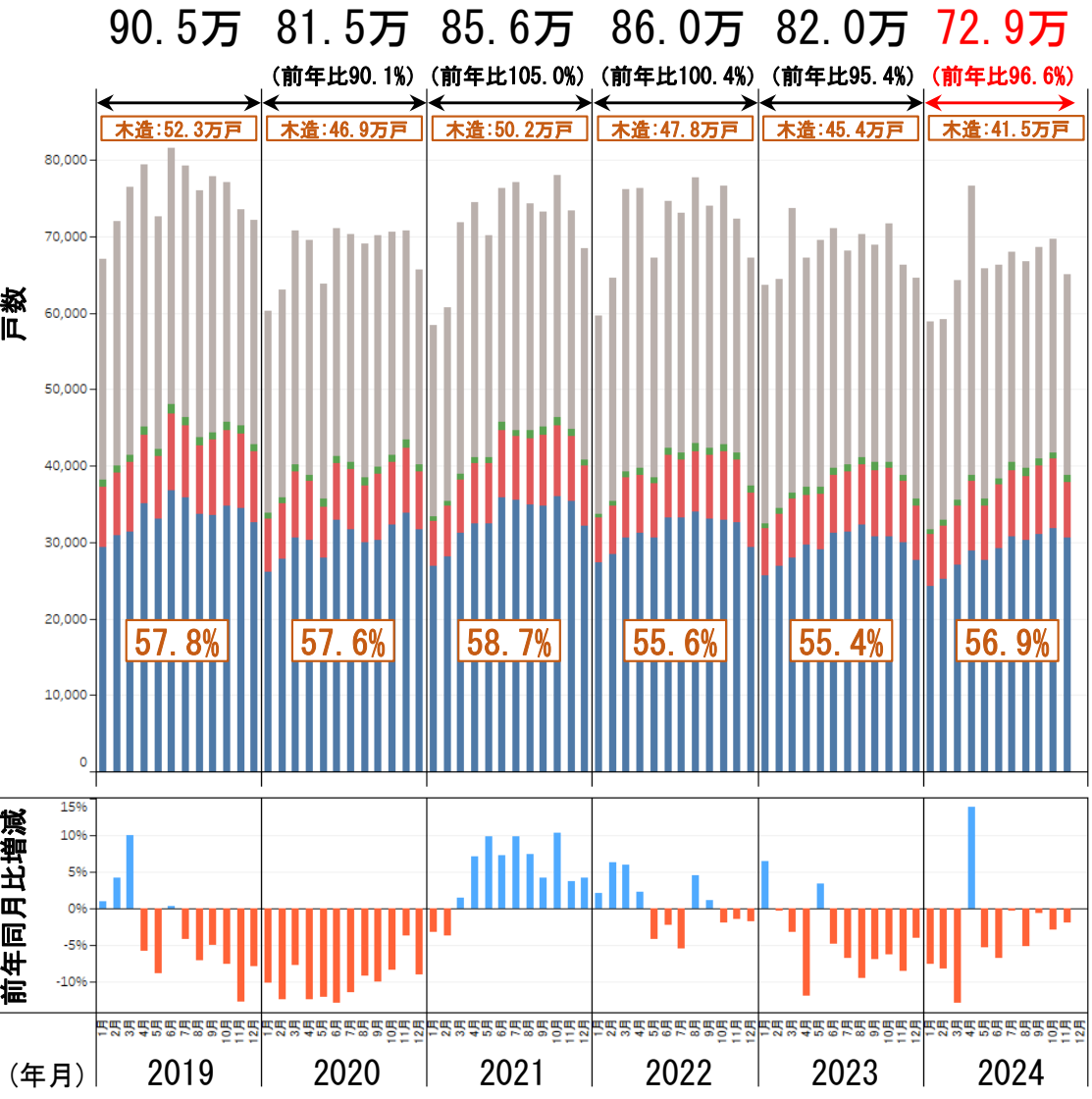
- パルプ用チップの消費について、2024年10月の輸入材広葉樹チップの消費量は115.0万 $\text{m}^3$ 。国産材針葉樹チップの消費量は52.9万 $\text{m}^3$ となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約8倍）。



3 住宅着工戸数の動向 (1) 全国の住宅着工戸数 (2019年1月～2024年11月)

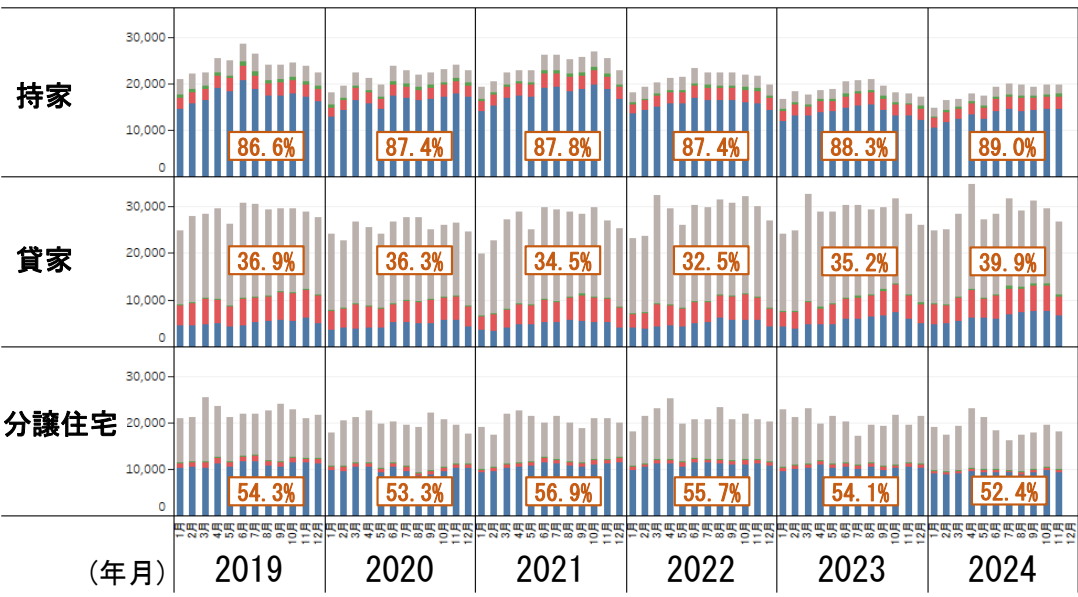
- 2023年の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年比95.4%）、このうち木造住宅は45.4万戸（同95.1%）となり、2022年の水準を下回った。
- 2024年1～11月の新設住宅着工戸数は、72.9万戸（前年同期比96.6%）、このうち木造住宅は41.5万戸（同99.1%）。

新設住宅着工戸数の推移



| 構造別の着工戸数 | 2024年<br>1～11月 | 前年<br>同期 | 前年<br>同期比 | 前々年<br>同期 | 前々年<br>同期比 |
|----------|----------------|----------|-----------|-----------|------------|
| 合計       | 729,113        | 755,037  | 96.6%     | 792,280   | 92.0%      |
| ■非木造     | 314,329        | 336,340  | 93.5%     | 351,775   | 89.4%      |
| 木造       | 414,784        | 418,697  | 99.1%     | 440,505   | 94.2%      |
| ■木造プレハブ  | 9,872          | 9,432    | 104.7%    | 9,309     | 106.0%     |
| ■2×4     | 87,909         | 83,642   | 105.1%    | 84,111    | 104.5%     |
| ■在来軸組    | 317,003        | 325,623  | 97.4%     | 347,085   | 91.3%      |
| □木造率     | 56.9%          | 55.5%    |           | 55.6%     |            |

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)

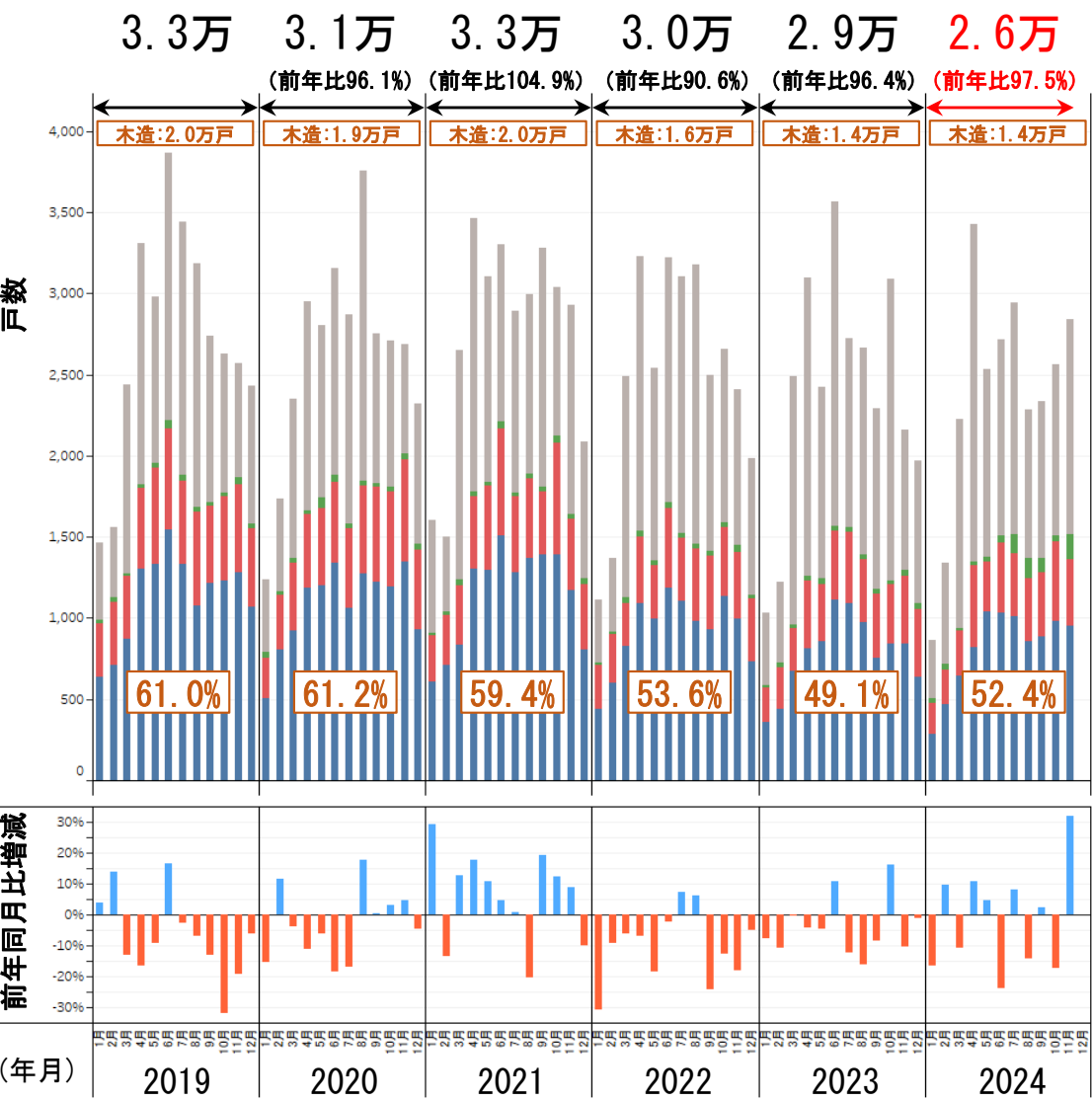


資料：国土交通省「住宅着工統計」

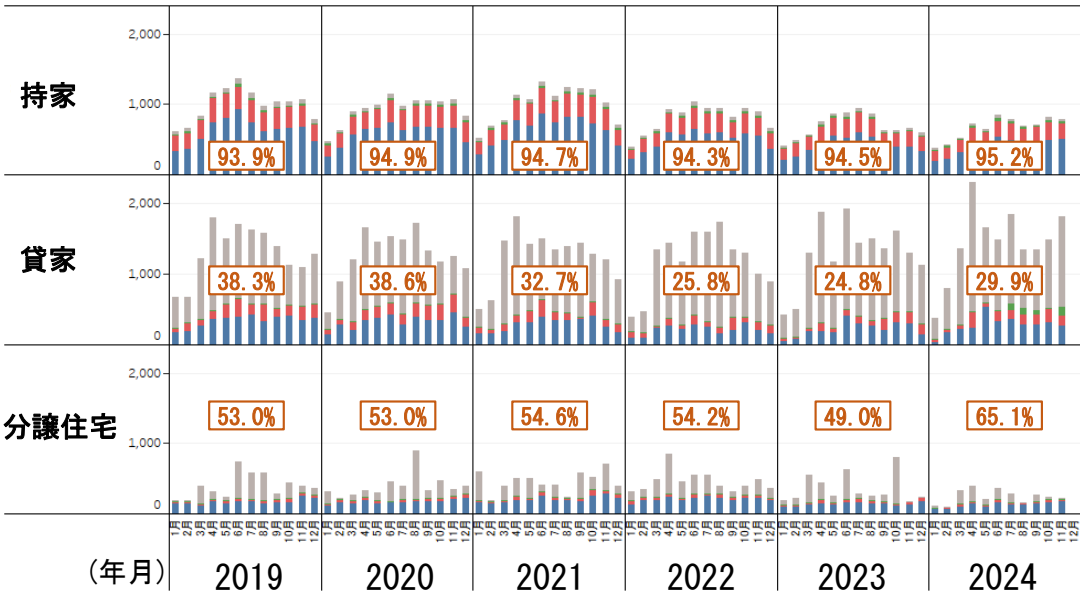
(2) 北海道地区の住宅着工戸数（2019年1月～2024年11月）

- 2023年の新設住宅着工戸数は、2.9万戸（前年比96.4%）、このうち木造住宅は1.4万戸（同88.3%）。
- 2024年1～11月の新設住宅着工戸数は、2.6万戸（前年同期比97.5%）、このうち木造住宅は1.4万戸（同105.2%）。

新設住宅着工戸数の推移



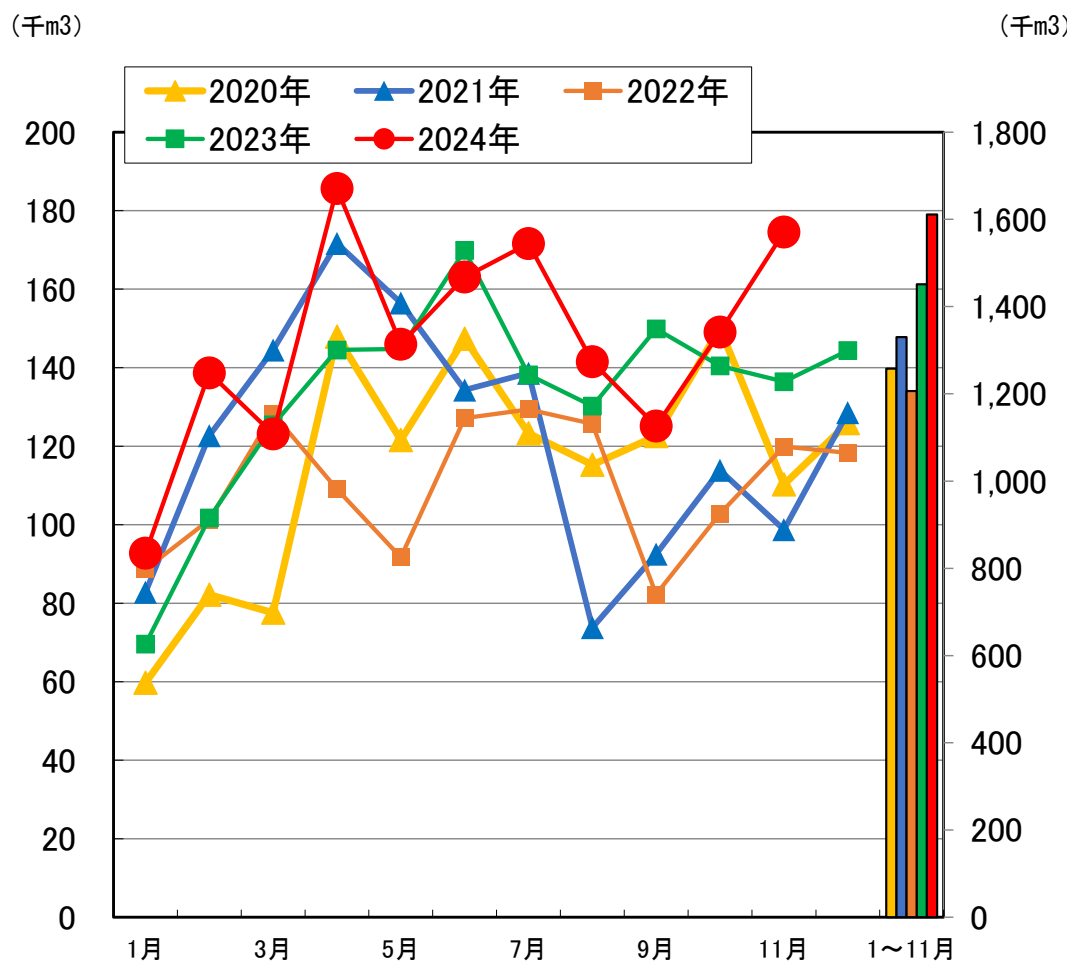
(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



4 木材輸出量

・ 2024年 1～11月の木材輸出量は、丸太1,611千m<sup>3</sup>（前年同期比111%）、製材138千m<sup>3</sup>（前年同期比112%）、合板97千m<sup>3</sup>（前年同期比92%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計  
※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計  
※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

| 輸出先   | 11月 単月                |            |            | 1～11月累計               |             |           |
|-------|-----------------------|------------|------------|-----------------------|-------------|-----------|
|       | 主要品目内訳(千m3)<br>前年比(%) |            |            | 主要品目内訳(千m3)<br>前年比(%) |             |           |
|       | 丸太                    | 製材         | 合板         | 丸太                    | 製材          | 合板        |
| 中国    | 160<br>130%           | 6<br>100%  | 0<br>146%  | 1,447<br>112%         | 59<br>114%  | 4<br>144% |
| 韓国    | 10<br>135%            | 1<br>115%  | 0<br>48%   | 101<br>115%           | 8<br>109%   | 0<br>54%  |
| 台湾    | 4<br>83%              | 3<br>264%  | 0<br>45%   | 60<br>89%             | 16<br>98%   | 0<br>42%  |
| 米国    | 0<br>—                | 2<br>101%  | 0<br>122%  | 0<br>—                | 37<br>129%  | 0<br>73%  |
| フィリピン | 0<br>—                | 1<br>67%   | 11<br>122% | 0<br>—                | 15<br>96%   | 92<br>91% |
| その他   | 0<br>56%              | 0<br>25%   | 0<br>0%    | 4<br>—                | 4<br>26%    | 0<br>118% |
| 総計    | 175<br>128%           | 13<br>108% | 12<br>122% | 1,611<br>111%         | 138<br>112% | 97<br>92% |

○税関ごとの丸太輸出量

| 税関名    | 管轄※                        | 合計(千m <sup>3</sup> )<br>1～11月 | 比率<br>1～11月 |
|--------|----------------------------|-------------------------------|-------------|
| 函館税関   | 北海道,青森,岩手,秋田               | 261.0                         | 16.2%       |
| 東京税関   | 山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨       | 51.8                          | 3.2%        |
| 横浜税関   | 宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川         | 41.3                          | 2.6%        |
| 名古屋税関  | 長野,岐阜,静岡,愛知,三重             | 23.2                          | 1.4%        |
| 神戸税関   | 兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知 | 34.4                          | 2.1%        |
| 大阪税関   | 大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山   | 14.6                          | 0.9%        |
| 門司税関   | 山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎          | 427.7                         | 26.5%       |
| 長崎税関   | 福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島            | 757.0                         | 47.0%       |
| 沖縄地区税関 | 沖縄                         | 0.0                           | 0.0%        |

※木材の集荷範囲とは対応していない

(参考)

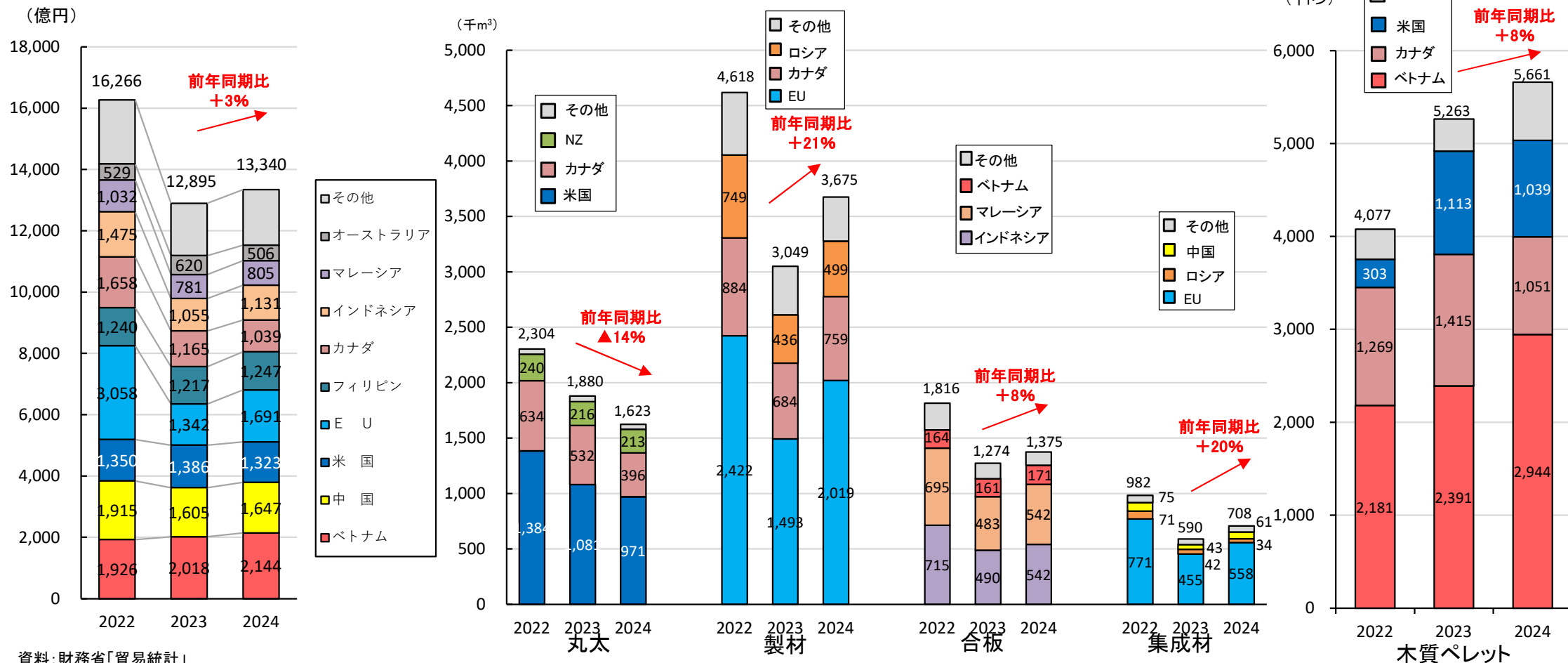
# 木材輸入の状況について

(2024年11月実績)

令和6年12月  
林野庁 木材貿易対策室

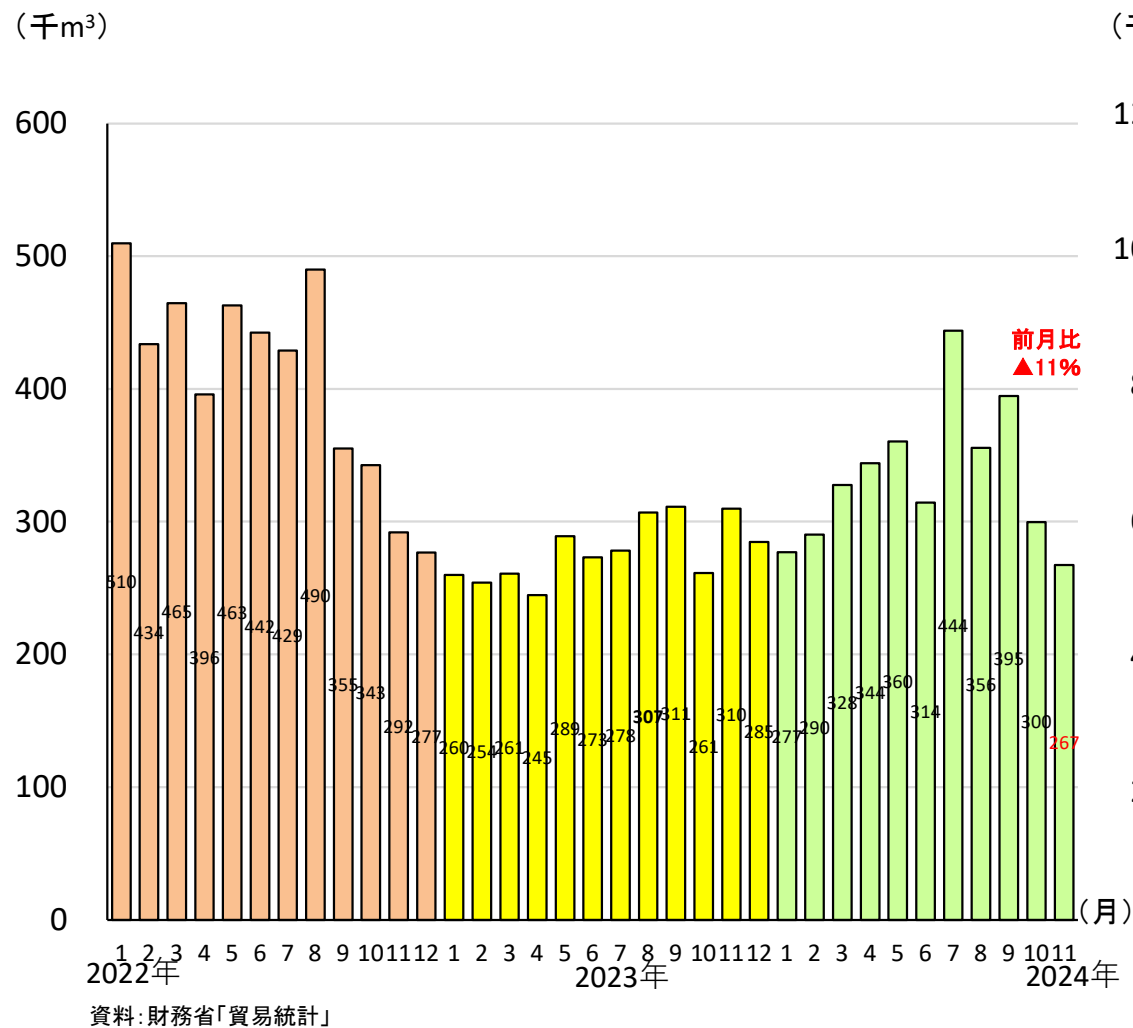
# 1. 2024年11月の木材輸入実績(累計)

- 2024年1～11月の木材輸入額累計は、前年同期比+3%増の13,340億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲14%減、製材が同+21%増、合板が同+8%増、集成材が同+20%増、木質ペレットが同+8%増となった。
- なお、2022年同期と比較すると、2024年1～11月の木材輸入額累計は▲18%減。品目別輸入量では、丸太が▲30%減、製材が▲20%減、合板が▲24%減、集成材が▲28%減、木質ペレットが+39%増。

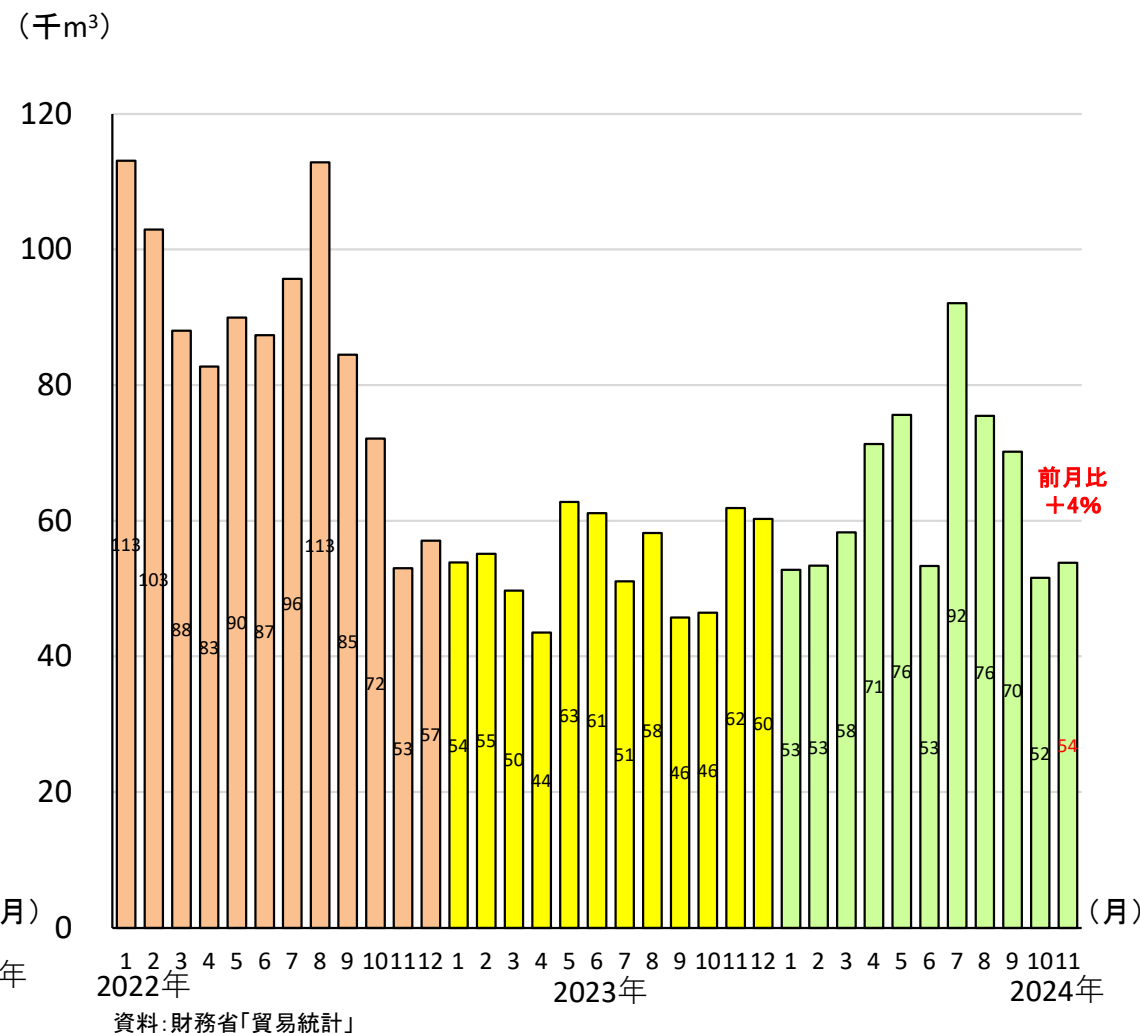


## 2. 製材・集成材の月別輸入量

- 2024年11月の製材輸入量は、前月比▲11%減の26.7万m<sup>3</sup>(前年同月比▲14%減)。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+4%増の5.4万m<sup>3</sup>(前年同月比▲13%減)。



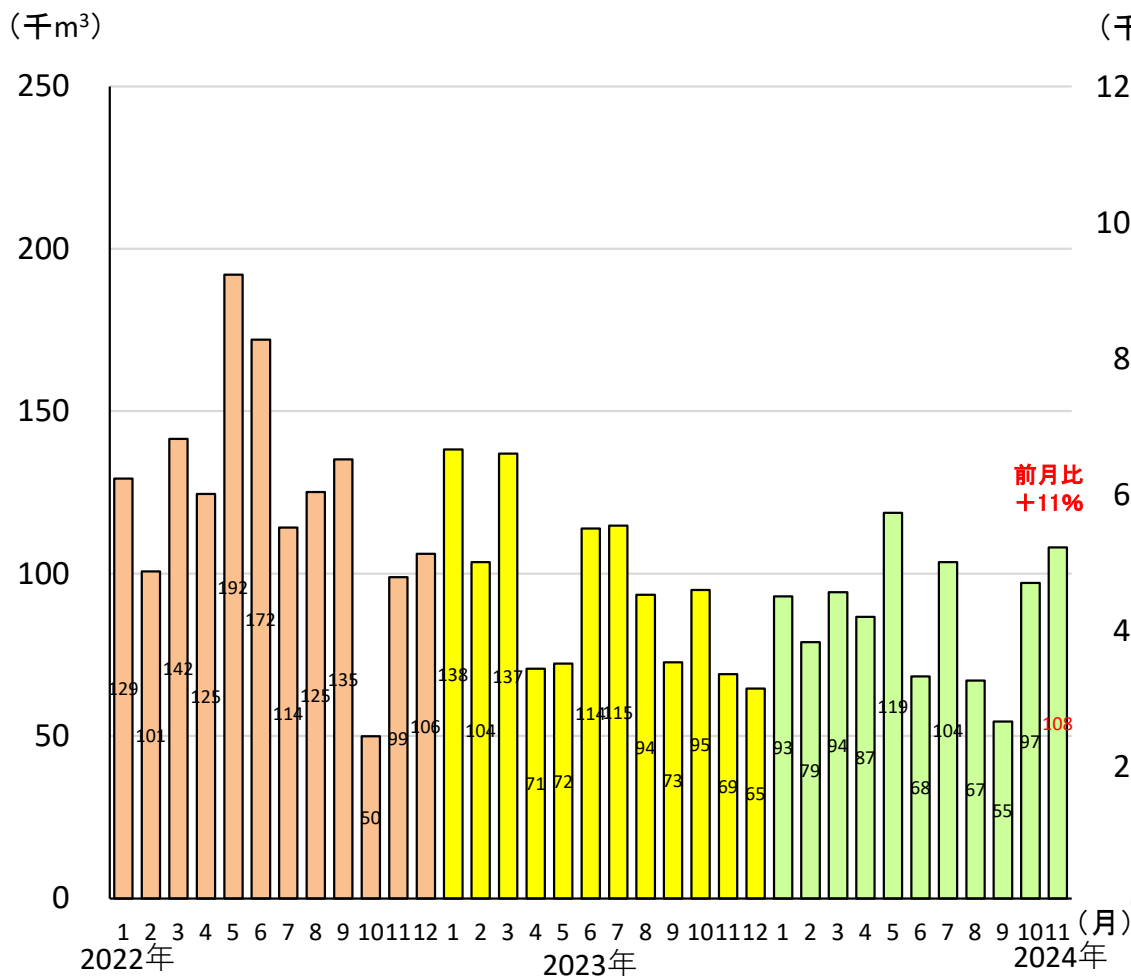
製材の輸入量



集成材の輸入量

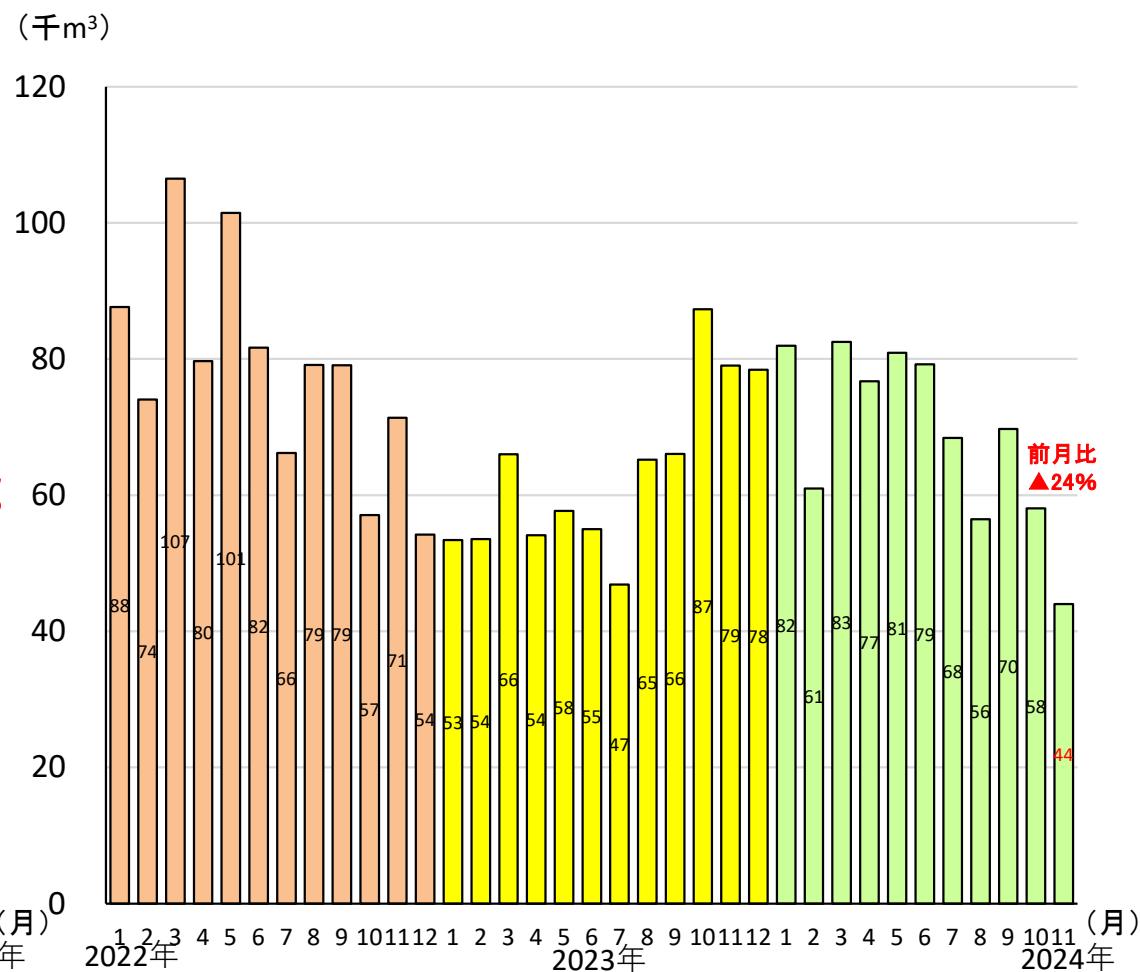
### 3. 北米からの月別輸入量

- 2024年11月の米国からの丸太輸入量は、前月比+11%増の10.8万m<sup>3</sup>(前年同月比+56%増)。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比▲24%減の4.4万m<sup>3</sup>(前年同月比▲44%減)。



資料:財務省「貿易統計」

米国からの丸太輸入量

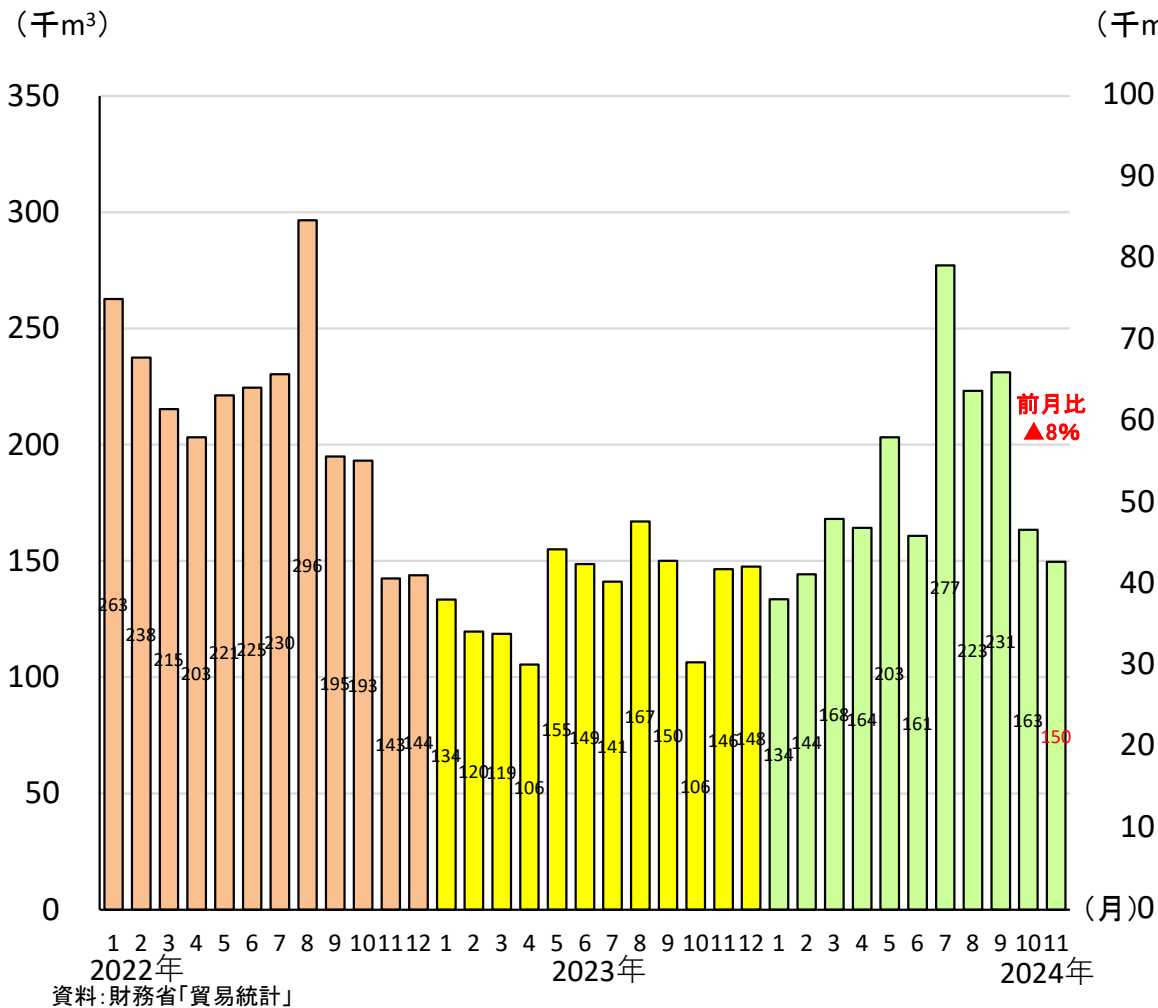


資料:財務省「貿易統計」

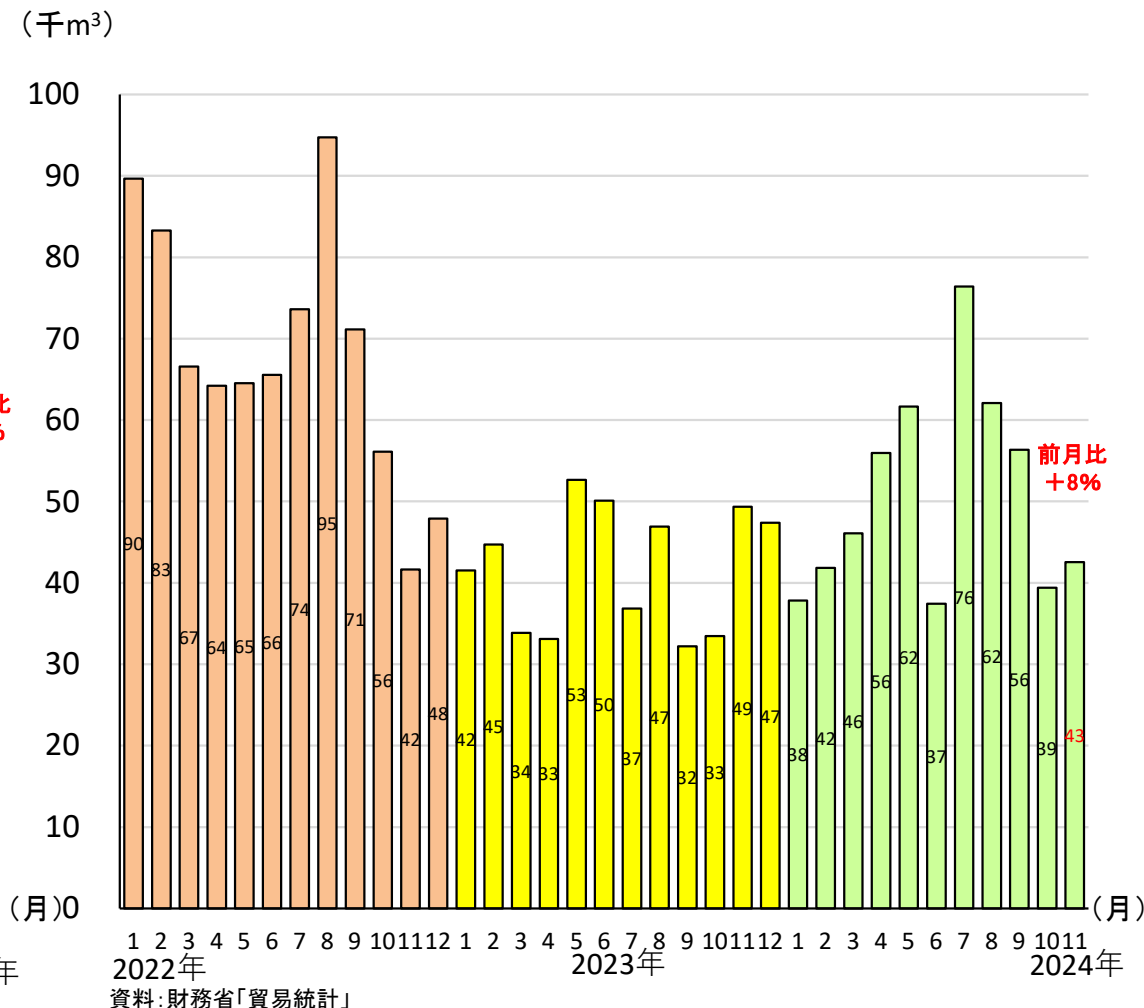
カナダからの製材輸入量

## 4. 欧州からの月別輸入量

- 2024年11月のEUからの製材輸入量は、前月比▲8%減の15.0万m<sup>3</sup>(前年同月比+2%増)。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+8%増の4.3万m<sup>3</sup>(前年同月比▲14%減)。



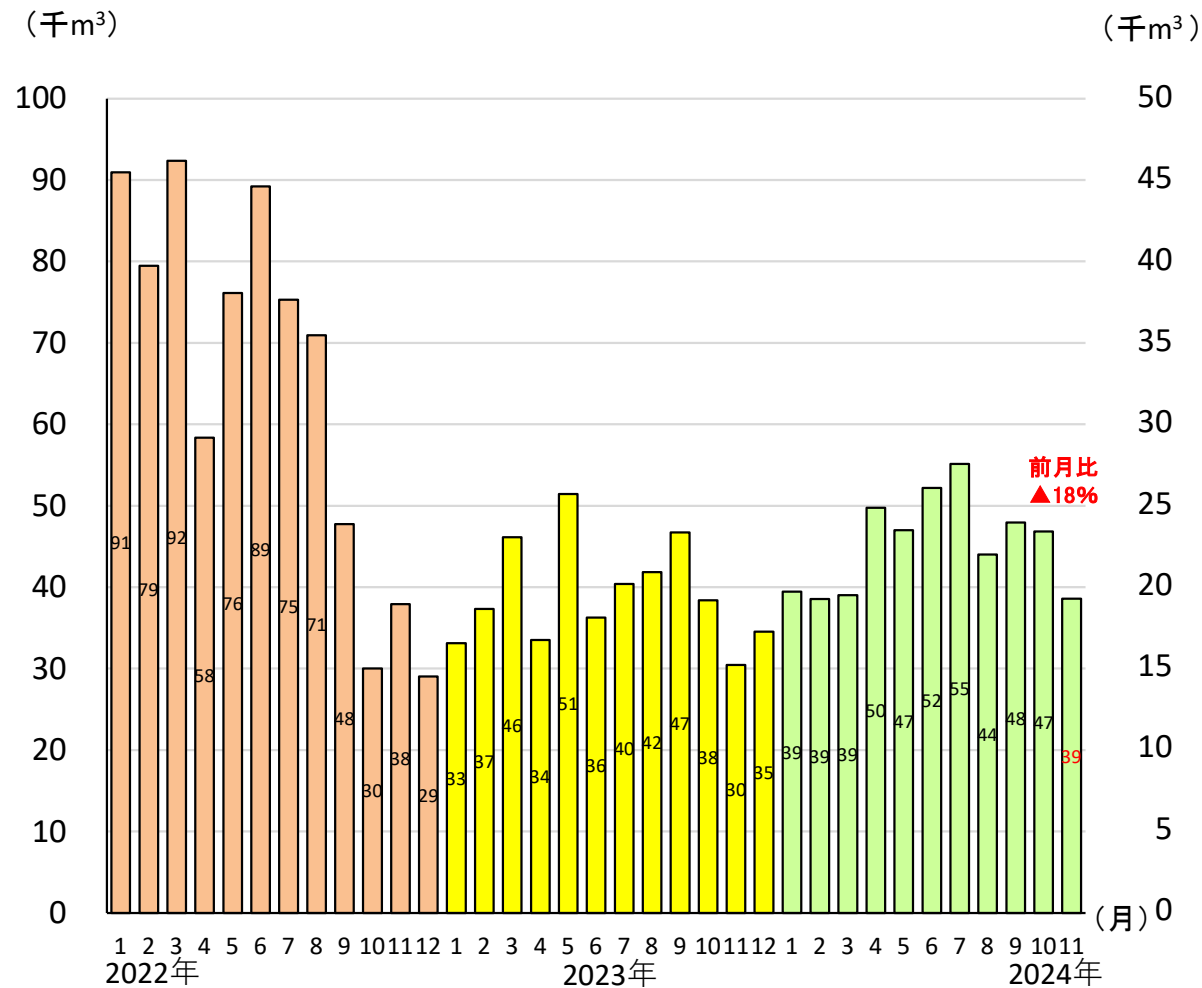
EUからの製材輸入量



EUからの集成材輸入量

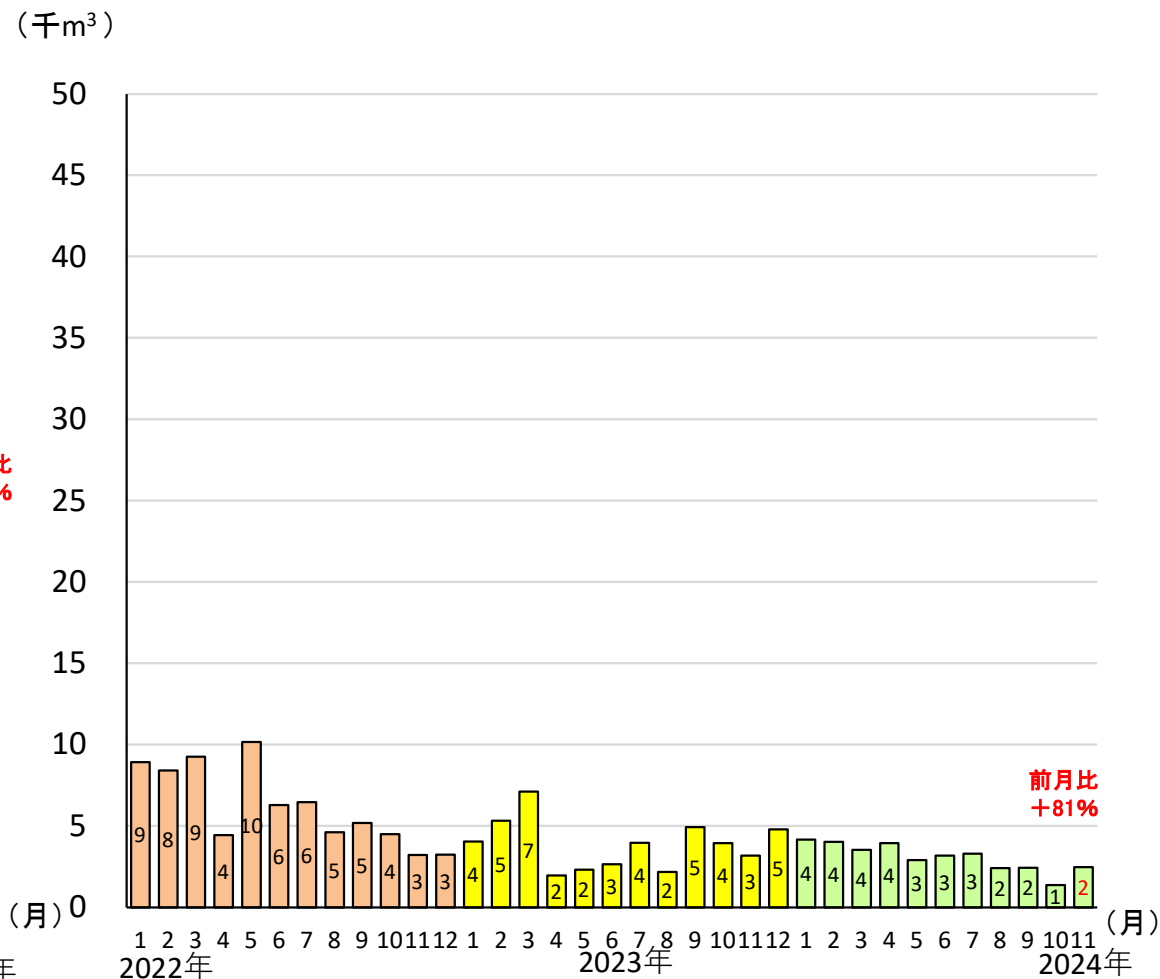
## 5. ロシアからの月別輸入量

- 2024年11月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲18%減の3.9万m<sup>3</sup>(前年同月比+27%増)。
- 同月のロシアからの集成材輸入量は、前月比+81%増の2.5千m<sup>3</sup>(前年同月比▲22%減)。



資料:財務省「貿易統計」

ロシアからの製材輸入量



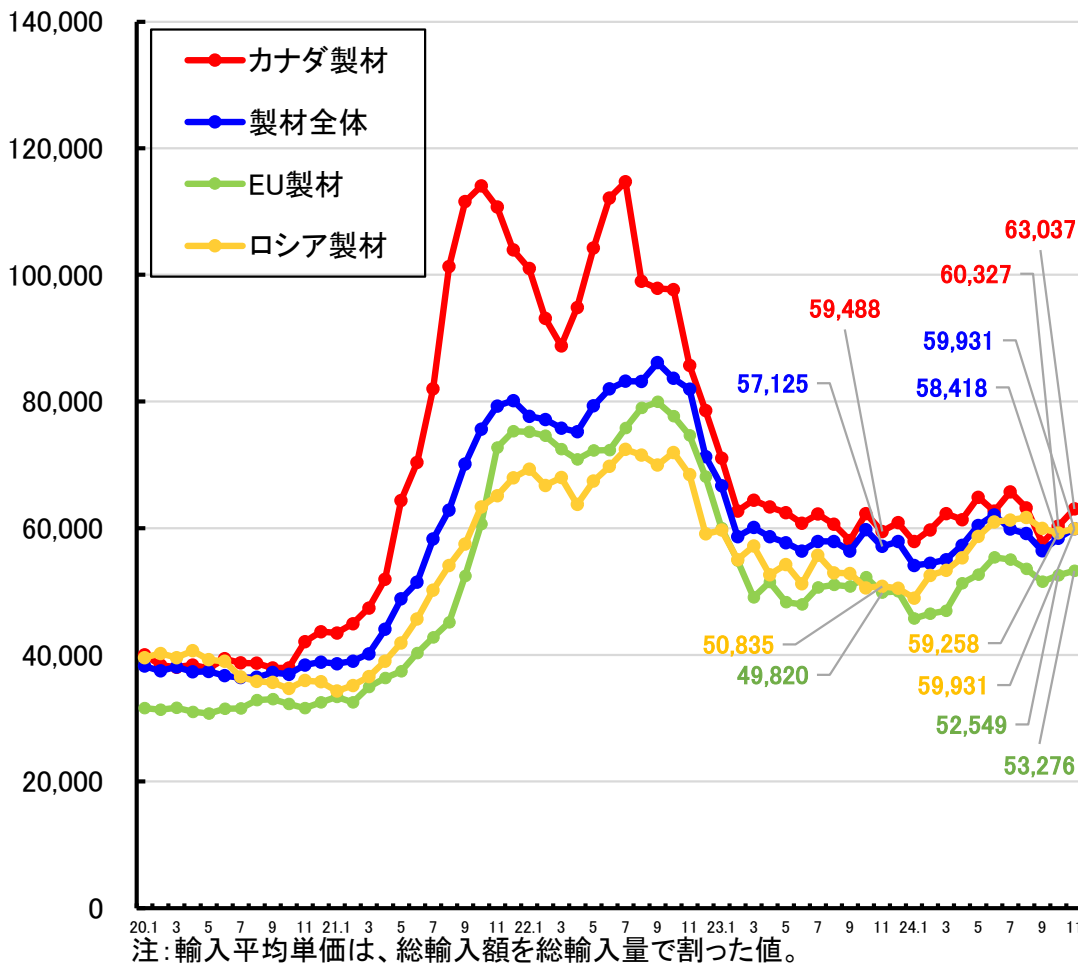
資料:財務省「貿易統計」

ロシアからの集成材輸入量

## 6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

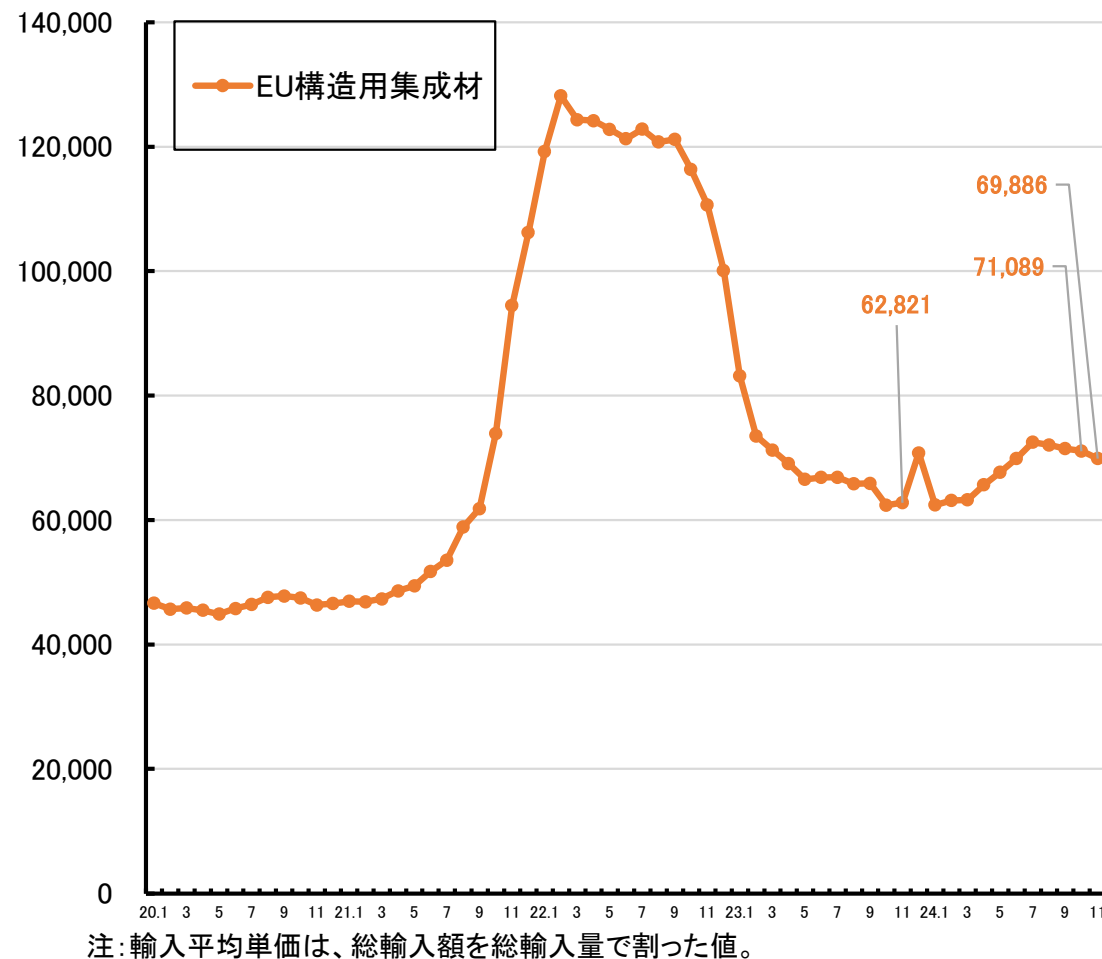
- 2024年11月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比+3%増の59,931円/m<sup>3</sup>（前年同月比+5%増）。国別に見ると、カナダの製材は、前月比+4%増の63,037円/m<sup>3</sup>（前年同月比+6%増）、EUの製材は、前月比+1%増の53,276円/m<sup>3</sup>（前年同月比+7%増）、ロシアの製材は、前月比+1%増の59,931円/m<sup>3</sup>（前年同月比+18%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲2%減の69,886円/m<sup>3</sup>（前年同月比+11%増）。

（円/m<sup>3</sup>）



製材の輸入平均単価

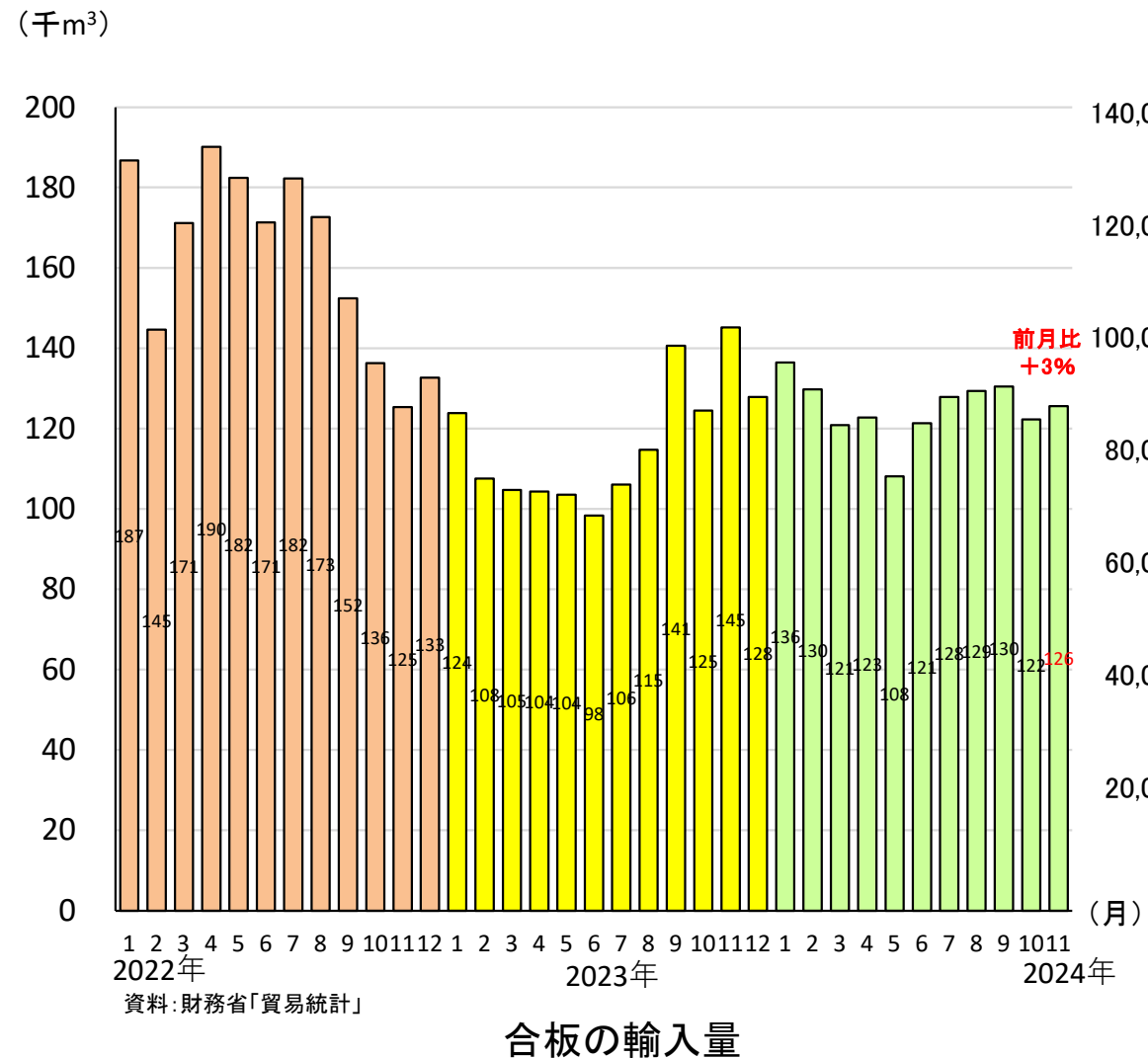
（円/m<sup>3</sup>）



構造用集成材の輸入平均単価

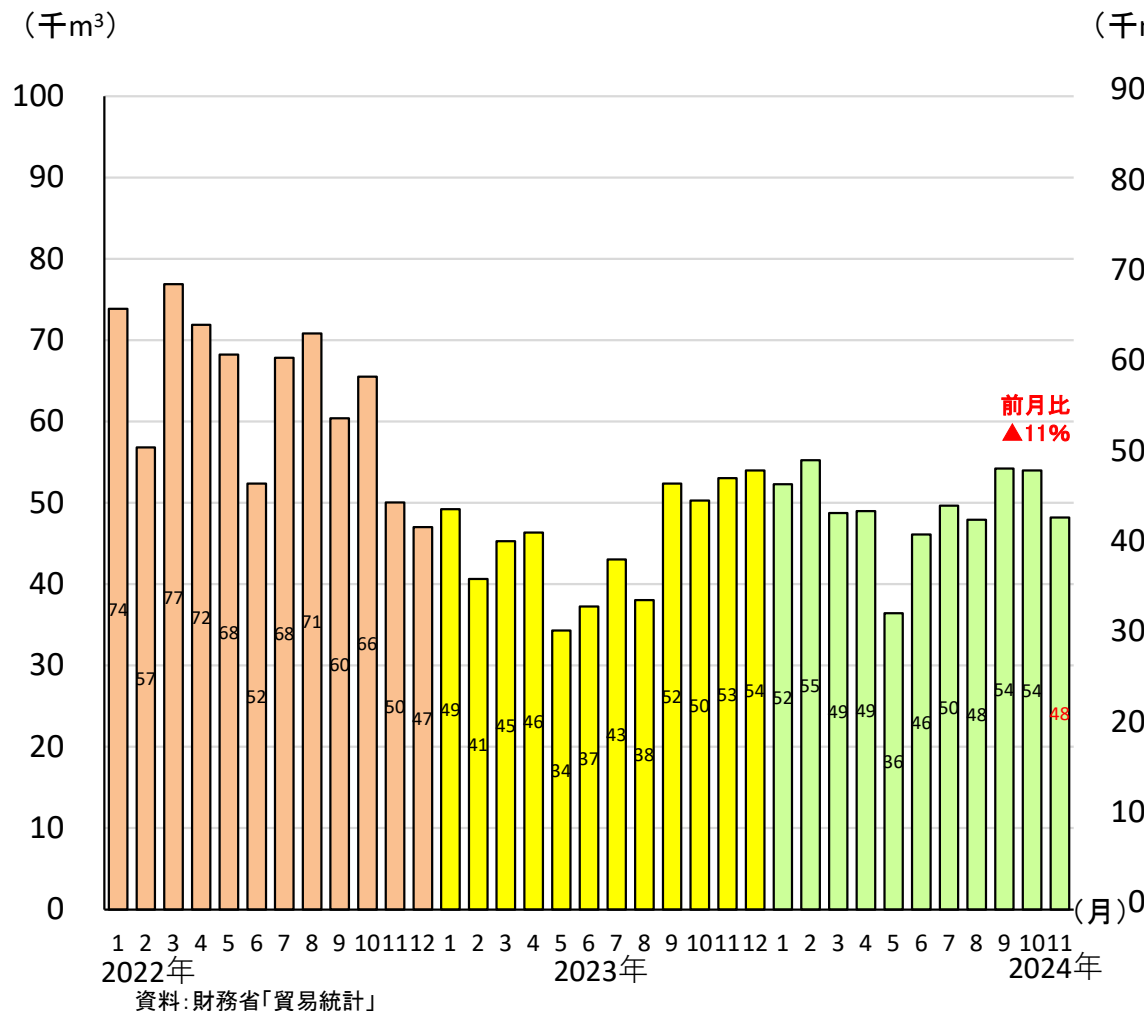
## 7. 合板の月別輸入量と価格

- 2024年11月の合板輸入量は、前月比+3%増の12.6万m<sup>3</sup>(前年同月比▲13%減)。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+2%増の80,254円/m<sup>3</sup>(前年同月比▲4%減)。

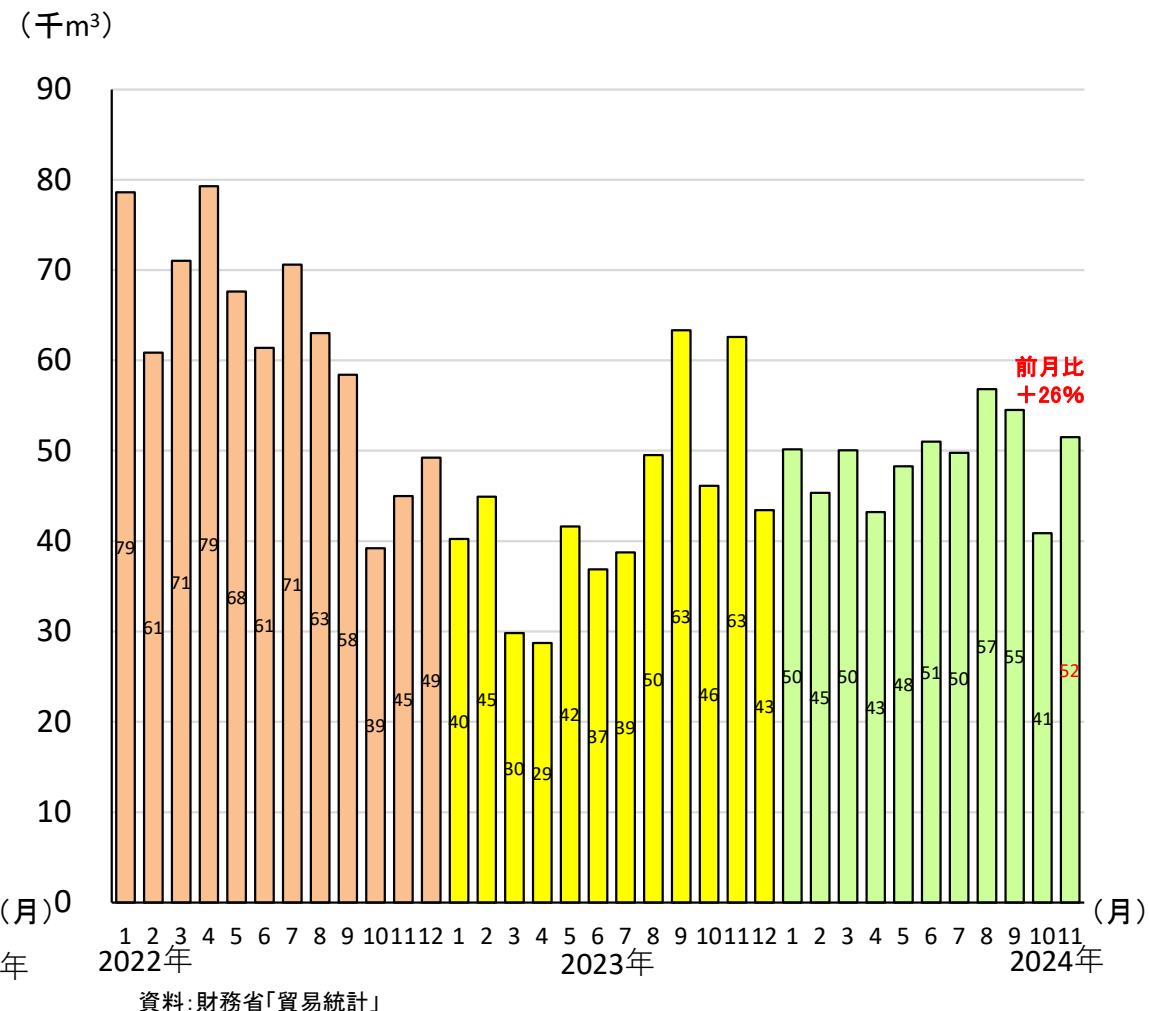


## 8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2024年11月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲11%減の4.8万m<sup>3</sup>（前年同月比▲9%減）。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+26%増の5.2万m<sup>3</sup>（前年同月比▲18%減）。



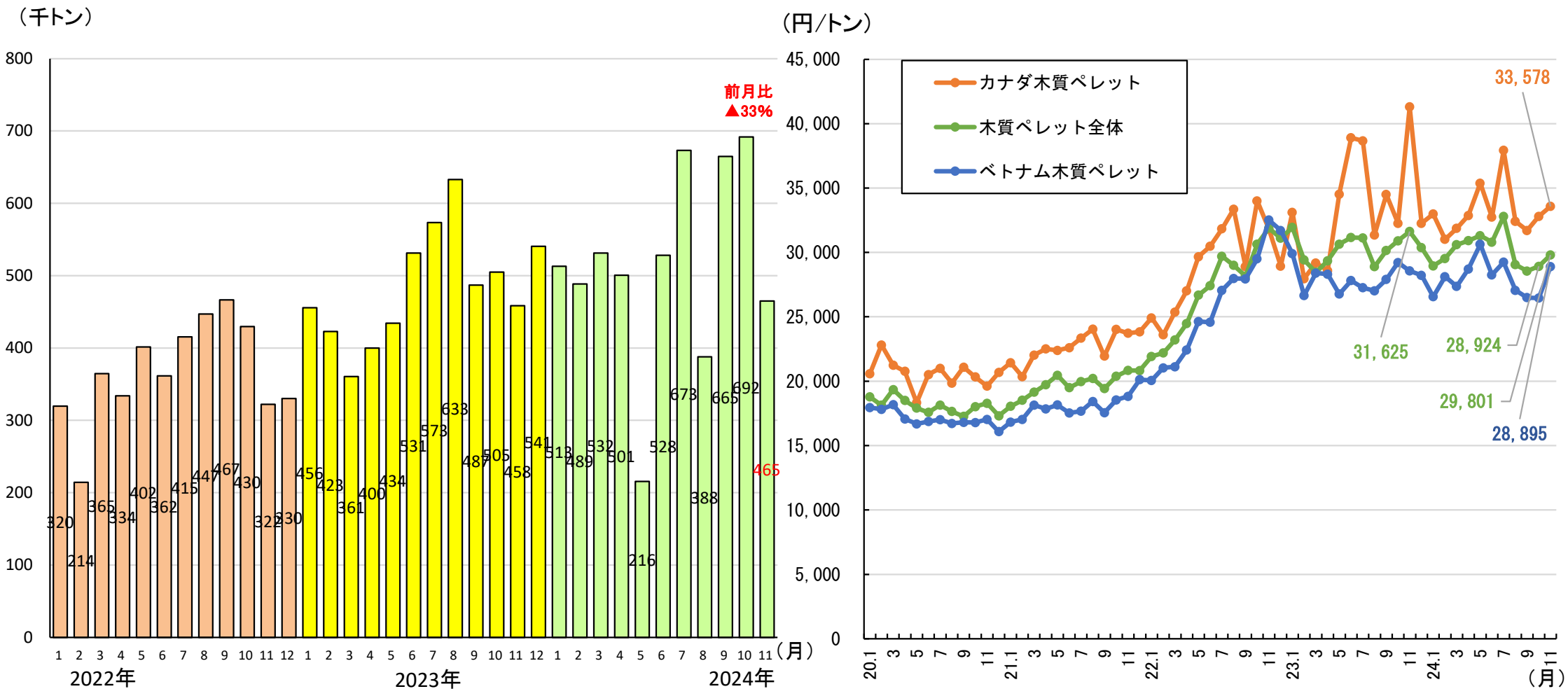
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

## 9. 木質ペレットの月別輸入量と価格

- 2024年11月の木質ペレット輸入量は、前月比▲33%減の46.5万トン(前年同月比+1%増)。
- 同月の木質ペレット輸入平均単価は、前月比+3%増の29,801円/トン(前年同月比▲6%減)。



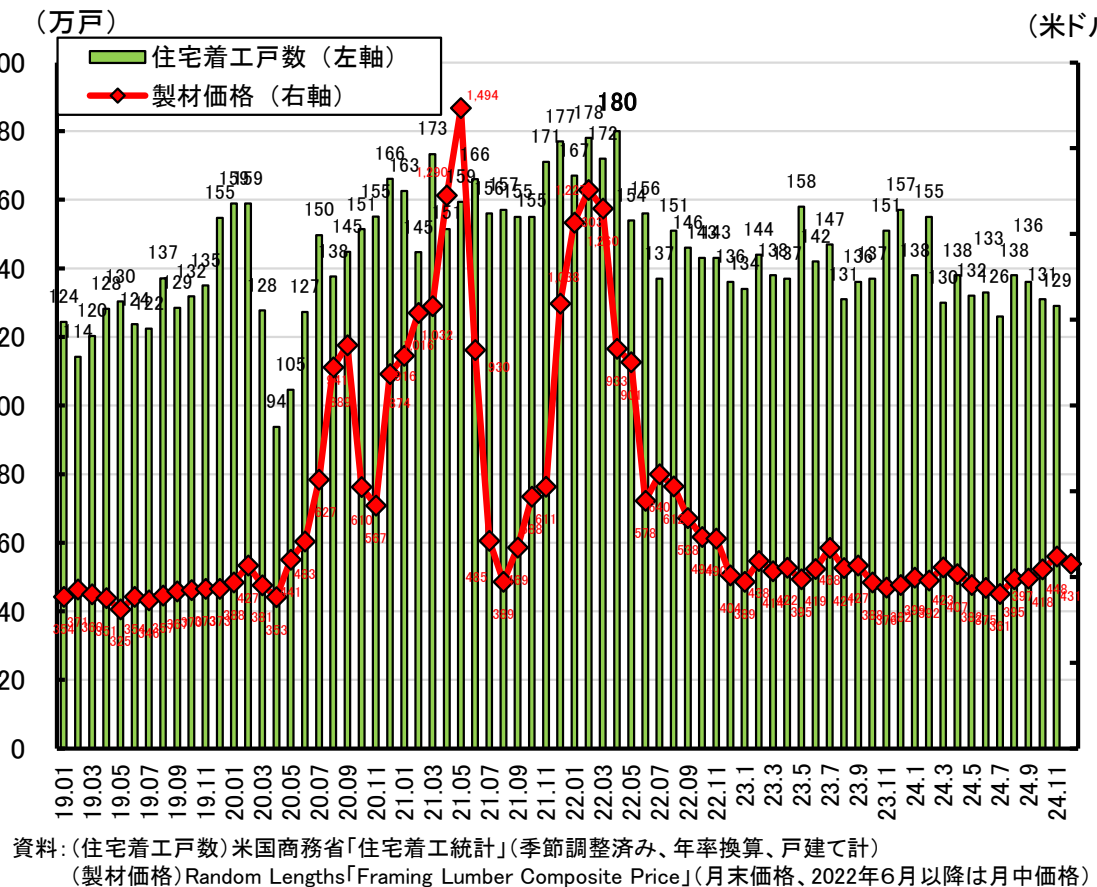
木質ペレットの輸入量

注:輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

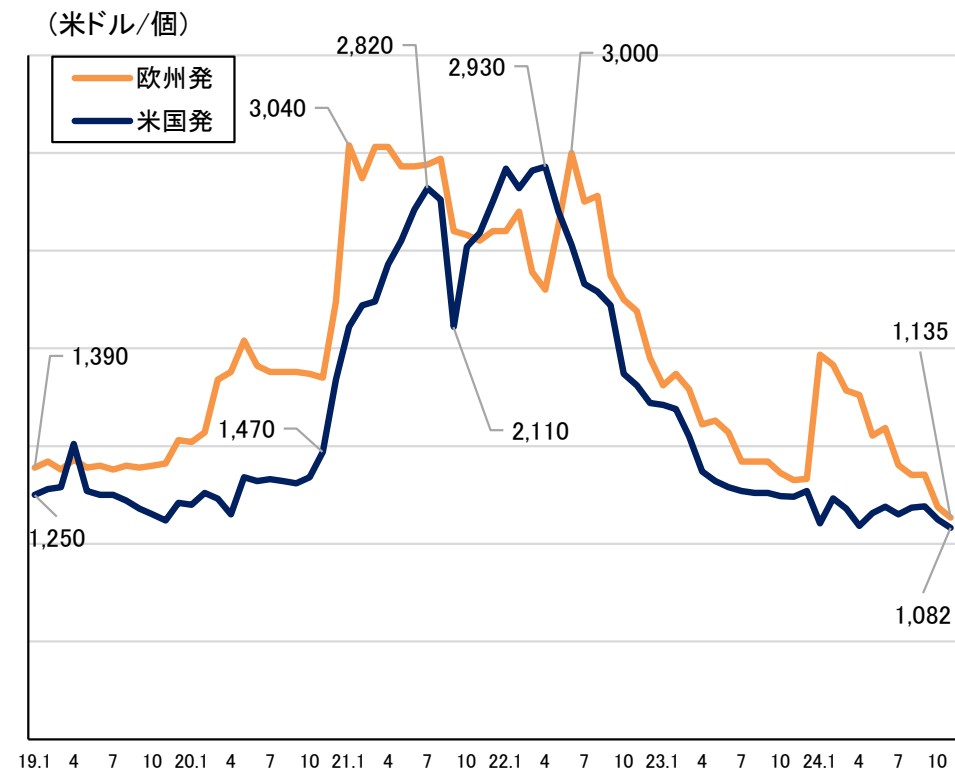
木質ペレットの輸入平均単価

## (参考1) 米国における木材価格の動向等

- **米国の住宅着工戸数**（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、**2022年5月からは概ね130～150万台で推移**。**2024年11月は前月比▲2%減の約129万戸**。
- **北米の木材価格**は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。**2024年12月は431ドル/mbf（前月比▲4%減）**。
- **日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したもの、2023年末時点で概ね元の水準まで下落**。しかしながら、2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰。



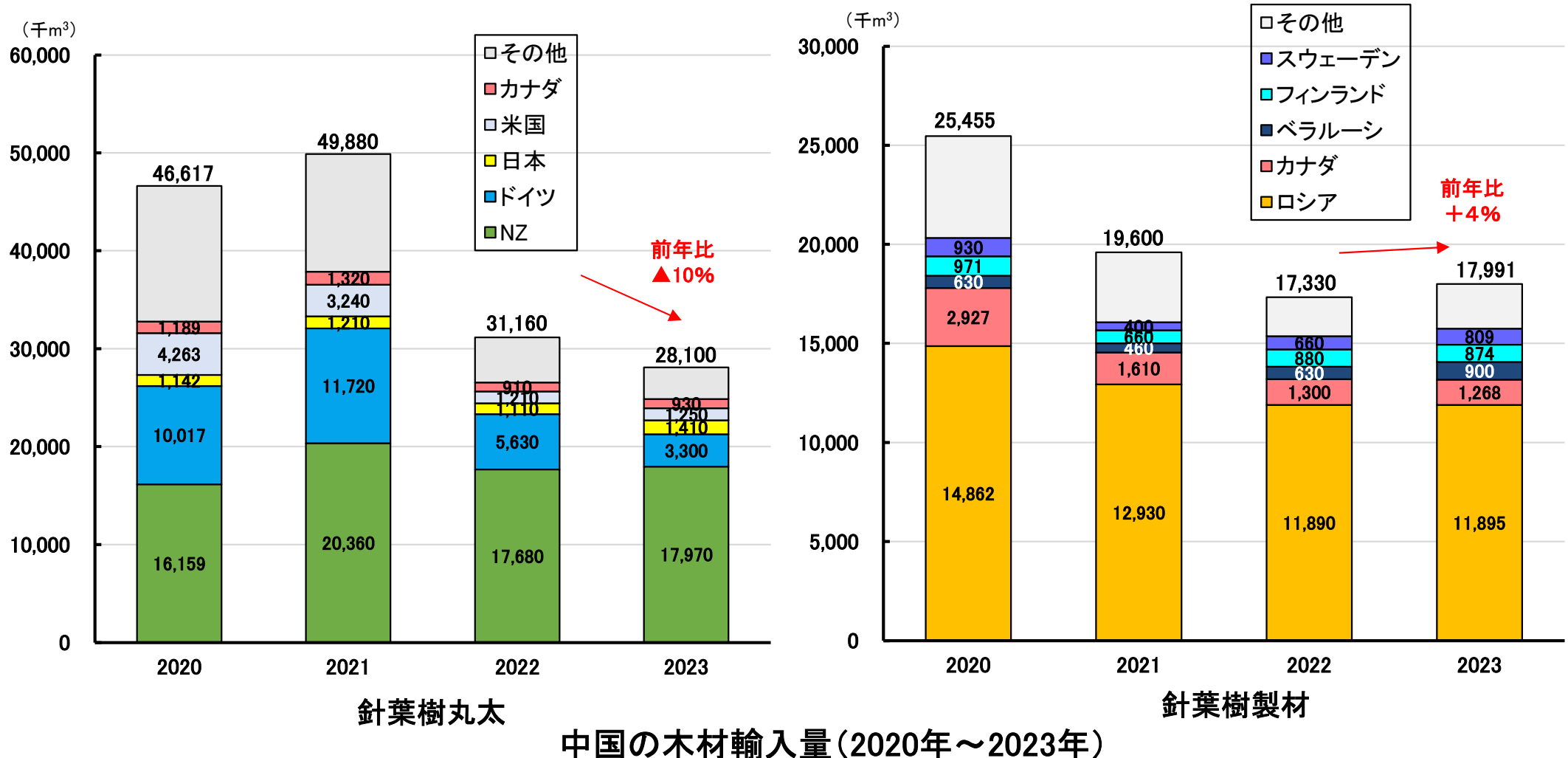
米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



日本向けコンテナ運賃の推移

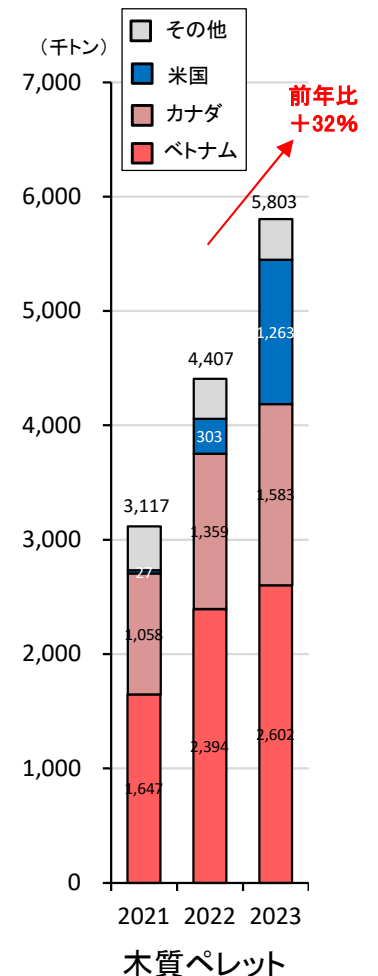
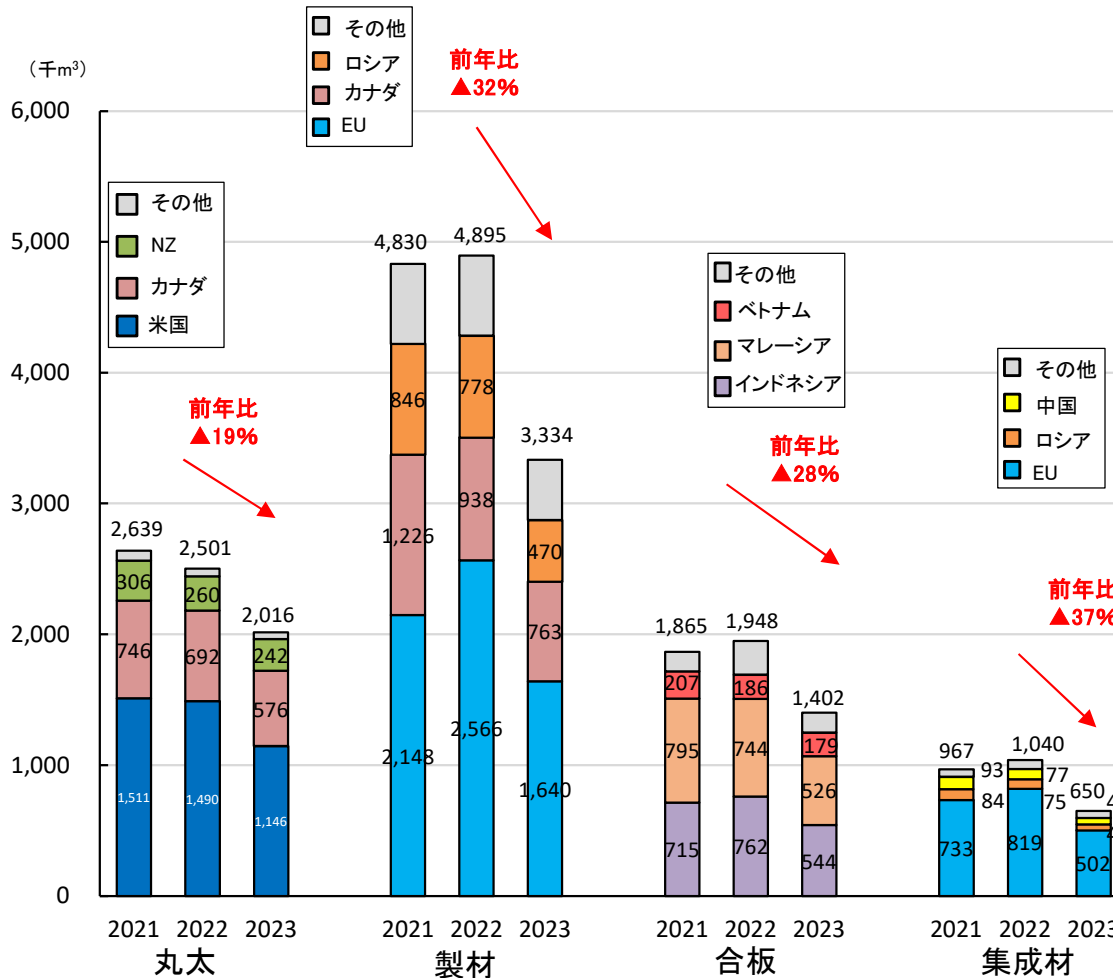
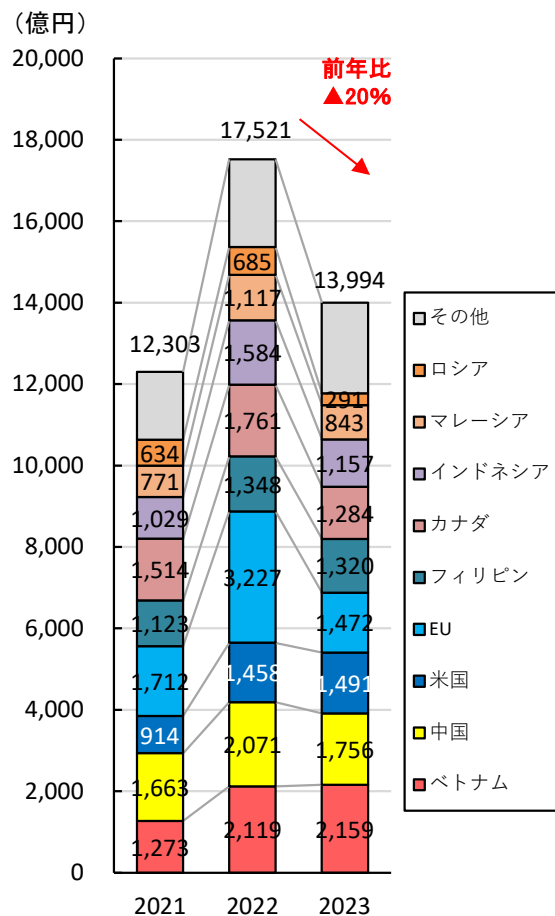
## (参考2) 中国における木材需要の動向

- 2023年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比▲10%減の2,810万m<sup>3</sup>。輸入量第1位はNZ、第2位はドイツ、第3位は日本。ロシアの丸太輸出禁止やドイツの虫害・風倒木の供給減等が影響し、2年連続で輸入量が減少した。
- 同針葉樹製材輸入量は、前年比+4%増の1,799万m<sup>3</sup>。輸入量第1位はロシア。
- 同経済は、年初にゼロコロナ政策が撤廃された後急速に回復したが、不動産市場の低迷等により年末にかけて再び停滞。



# (参考)2023年の木材輸入実績

- 2023年の木材輸入額累計は、前年比▲20%減の1兆3,994億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年比▲19%減、製材が同▲32%減、合板が同▲28%減、集成材が同▲37%減、木質ペレットが同+32%増。
- 2021年との比較では、木材輸入額累計は+13%増。品目別輸入量では、丸太が同▲24%減、製材が同▲31%減、合板が同▲25%減、集成材が同▲33%減、木質ペレットが同+87%増。



資料:財務省「貿易統計」、2023年は確々報値

木材輸入額の推移  
(2021～2023年における1～12月累計)

資料:財務省「貿易統計」

品目別木材輸入量の推移  
(2021～2023年における1～12月累計)